

共 通 教 育

「学生による授業評価」ならびに
「教員のFD活動レポート」

報 告 書

平成20年度(前・後学期)



平成22年 3 月

宮 崎 大 学

平成 20 年度（前・後学期）
共通教育「学生による授業評価」ならびに
「教員の FD 活動レポート」報告書
の刊行にあたって

平成 20 年度前・後学期分の共通教育「学生による授業評価」ならびに「教員の FD 活動レポート」報告書が完成しました。平成 16 年度の前・後学期以来通算で、9 冊目に当たる報告書です。平成 16 年度から 19 年度までは前学期と後学期を別冊で発行してきましたが、今回は合冊といたしました。

質問項目や結果の整理・分析の方法は、これまでの報告書の場合とほぼ同じです。20 年度前・後学期の状況とともに、これまでの報告書を合わせて読んで頂くと、法人化以降の本学における共通教育の推移・動向をうかがうことができます。

本学では共通教育のあり方についての議論が行われています。本報告書を含む 9 冊の報告書は、その基礎資料になると考えられます。できるだけ多くの教職員の方々に目を通して頂き、共通教育に対する理解及び充実・発展のために役立てて頂ければ幸いです。

最後に、今回の報告書のとりまとめが大きく遅れましたことを心からお詫び申し上げますとともに、ご多忙中にもかかわらず、今回も「学生による授業評価アンケート」および「教員の FD 活動レポート」にご協力頂いた授業担当教員各位に深く御礼申し上げます。

平成 22 年 3 月

共通教育部自己点検・評価委員会
委員長 長谷川 信美

目 次

I 平成 20 年度前学期	1
第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート	2
第2章 評価結果の分析	6
【1】全科目の平均について	6
【1-1】全科目平均の動向	7
【2】科目群ごとの分析	9
【2-1】科目群ごとの平均、全体および前年度との比較	9
【2-2】前年同学期との比較	11
【2-3】科目単位でみた分布	14
第3章 教員によるFD活動レポート	26
【1】学生による評価と教員の自己評価の比較	26
【2】教員のFD活動の状況	30
第4章 科目ごとのデータ一覧	31
II 平成 20 年度後学期	43
第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート	44
第2章 評価結果の分析	45
【1】全科目の平均について	45
【1-1】全科目平均の動向	46
【2】科目群ごとの分析	48
【2-1】科目群ごとの平均、および全体との比較	48
【2-2】前年同学期との比較	50
【2-3】科目単位でみた分布	53
第3章 教員によるFD活動レポート	65
【1】学生による評価と教員の自己評価の比較	65
【2】教員のFD活動の状況	69
第4章 科目ごとのデータ一覧	70
第5章 総 括	80
「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿	83

I 平成 20 年度前学期

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成20年度前学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成20年(2008年)7月1日(金)～7月11日(金)の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(231科目)。但し、木花キャンパス開講初修外国語科目及び集中講義は除く。
実施方法	実務は学務部教務課と教育研究・地域連携センター(武方壮一準教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した(但し、「情報科学入門」は、これまでと同様に原則Web入力により実施した)。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育研究・地域連携センター(同上)が集計作業を行った。
回収率	97%(229科目中、221科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、前回同様に常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては従来通りに所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出して貰った。その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育研究・地域連携センター(武方壮一準教授)が集計作業を行った。 提出率は58%(229科目中、133科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。 更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物を次ページ以降に掲載した。なお、実際には、「科目コード」「授業科目」「担当教員」の〇〇の部分には各教員名及び授業名等のデータがあらかじめ記入されている。

「学生による授業評価」調査票(共通教育)

共通教育部自己点検・評価委員会

記入にあたっては、真剣に、かつ、率直な評価をしてください。この調査を教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ります。なお、この調査とあなたの成績とは一切関係ありません。

科目コード:

授業科目:

担当教員:

達成目標:

I. 質問項目:

A: 受講・勉学態度等に関して

- 1 私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。
- 2 私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
予習や復習/重要事項の書き留め/課題の提出/授業内・外での教師への質問(オフィスアワーの活用)、等
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B: 担当教員の教授技法や授業内容等に関して

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかなで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。
教室の照明/空調/机・椅子などの備品の状態、等(適切でない場合、自由記述欄に具体的に)

D: 総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

II. 回答欄:

所属等: 学籍番号のはじめの4ケタを記入してください。

次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④～①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④: あてはまる ③: ややあてはまる ②: あまりあてはまらない ①: あてはまらない

		マーク欄				自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想)
A	1	④	③	②	①	
	2	④	③	②	①	
	3	④	③	②	①	
B	4	④	③	②	①	
	5	④	③	②	①	
	6	④	③	②	①	
	7	④	③	②	①	
	8	④	③	②	①	
	9	④	③	②	①	
C	10	④	③	②	①	②、①の場合具体的に:
	11	④	③	②	①	
D	12	④	③	②	①	

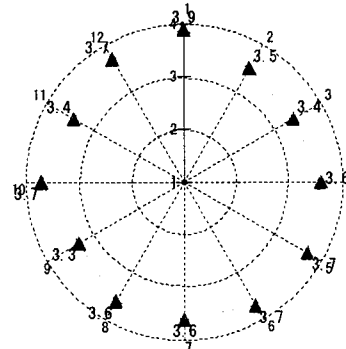
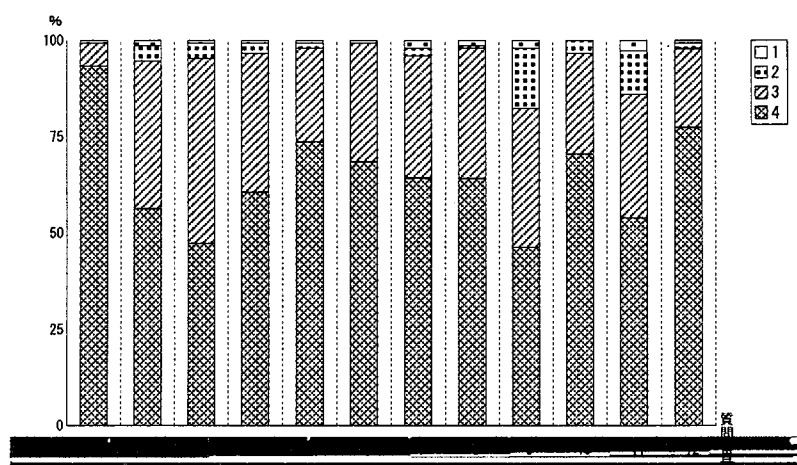
III. その他、この授業について、よかったこと、改善を求めたいこと、等の意見や感想を自由に述べてください。

「学生による授業評価」の結果報告書

科目コード	〇〇〇〇〇	科目区分	共通教育		
授業科目	〇〇〇〇〇				
担当教員	〇〇〇〇〇	実施時期		回答者数	150

I. 集計結果

No.	質 問 項 目	4	3	2	1	合 計
1	私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。	139	9		1	149
2	私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。	85	58	6	2	151
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	71	72	6	1	150
4	授業はシラバスに沿って行われた。	91	54	4	1	150
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	109	36	2	1	148
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。	102	46		1	149
7	重要ポイントが明かで、説明も分かり易かった。	97	48	3	3	151
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	95	50	1	2	148
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	68	53	23	3	147
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。	105	39	5		149
11	学習環境は適切だった。	81	48	17	4	150
12	この授業は満足できるものだった。	113	30	2	1	146
		1156	543	69	20	1788



II. 受講生の授業評価を受けて、分かったこと、感想、改善すべきことなど
回答用紙で確認ください。

この調査は教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ることを目的としています。記入にあたっては、各授業科目毎に率直に自分の授業を点検してください。

科目コード:

授業科目:

担当教員:

I. 質問項目:

回答者名: ()

A: 授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検してください。

- 1 シラバスに沿って授業を行えた。
- 2 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。
- 3 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。
- 4 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。
- 5 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。
- 6 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。
- 7 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。
- 8 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

B: FD活動についてお尋ねします。

- 9 この授業科目に関してこの1年間取り組んだFD活動を選んでください。（複数回答可）
①他教員の授業参観 ②学内外のFD講演会等への参加 ③他大学のFD活動の視察 ④その他
- 10 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。（複数回答可）
①他教員の授業参観 ②学内外のFD講演会等への参加 ③他大学のFD活動の視察 ④その他

II. 回答欄:

1～8について: 次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④～①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④:あてはまる ③:ややあてはまる ②:あまりあてはまらない ①:あてはまらない

9～10について: 質問に対応する適切な数字を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

		マーク欄				自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想)
A	1	④	③	②	①	
	2	④	③	②	①	
	3	④	③	②	①	
	4	④	③	②	①	
	5	④	③	②	①	
	6	④	③	②	①	
	7	④	③	②	①	
	8	④	③	②	①	
B	9	①	②	③	④	④の場合具体的に:
	10	①	②	③	④	④の場合具体的に:

III. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

第2章 評価結果の分析

【1】全科目の平均について

すべての共通教育科目(全229科目のうち回収された221科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである(小数第2位以下は四捨五入)。

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目の平均	3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.4

評価は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

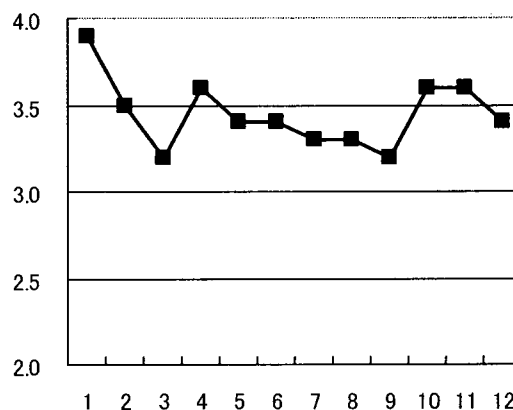


図 質問項目ごとの全科目の平均
(※縦軸の評価2未満の目盛は割愛した。)

【1-1】全科目平均の動向

16年度からの各学期において、これまで、すべての科目を対象に学生による授業評価が実施されている。そこで、この4年半の間にどれほどの改善がなされたかをみるために、評価点の平均の動向を整理したものが下の図表である(注:16年度は質問3と質問10は設けていなかったもので、下表では空欄にしてあるとともに、下図ではデータなしとなっている)。

質 問 項 目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
16年度前学期	3.9	3.4		3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9		3.4	3.2
16年度後学期	3.9	3.4		3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0		3.5	3.3
17年度前学期	3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.3
17年度後学期	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.2	3.6	3.6	3.5
18年度前学期	3.9	3.5	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
18年度後学期	3.9	3.4	3.1	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.6	3.5	3.4
19年度前学期	3.9	3.4	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
19年度後学期	3.9	3.4	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
20年度前学期	3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.4

○同学期との比較

19年度前学期と今回の結果を比較すると、横ばいの質問1と質問10を除く12項目中10項目において、学生の評価は上昇した(なお、本報告書における評価点はすべて、小数第二位以下は四捨五入している)。

同学期どうして比較した場合、16年度から17年度にかけては、10項目のうち6項目において評価が上がった。次いで、17年度から18年度にかけては、下がっ

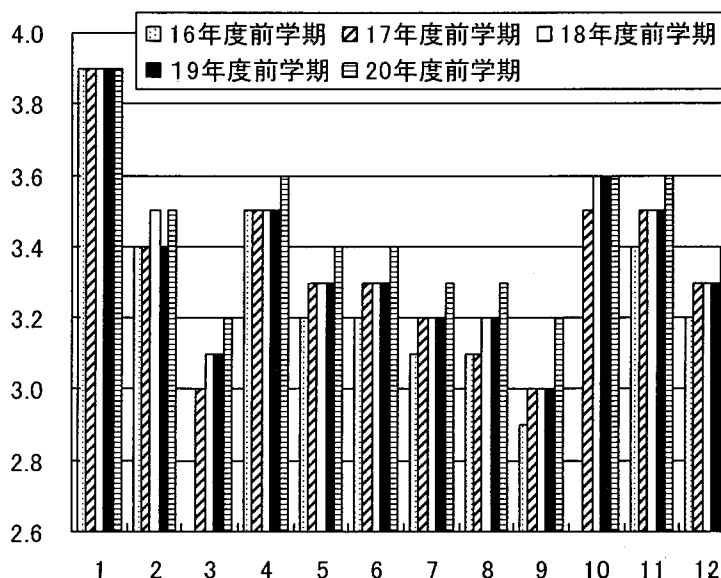


図 同学期の比較

た項目が1つもみられないと同時に、3分の2の項目（主に「教員の教え方など」（質問4～9）や質問12（総合満足度）において横ばいで、平成19年度は、質問2を除く全ての項目において横ばいであった。しかし今年度は2項目を除くすべての項目で評価が0.1～0.2ポイント上昇した。横ばいだったのは学生の講義出席率とクラスサイズに関する質問であった。

このことは、教育の改善（特に教え方）に関して、教員の努力の一定の成果が実ってきている現れとみることができよう。しかし、質問7～9の3項目（「教員の教え方」のうち、説明の仕方や学生の意欲を引き出す教え方に関わる項目）の3.2～3.3、「総合満足度」における3.4という評点については、「これで妥当（上位安定）」とみるべきか、あるいは「まだ不十分（改善の余地あり）」とみるべきか、評価が分かれるところであろう。

○4年半の期間における動向

法人化直後の16年度前学期と今回（20年度前学期）の結果を比較すると、下がった項目はなく、質問3と質問10を除く10項目中9項目において、0.1～0.3ポイント上がっている。このことは、4年半という期間でみれば、共通教育に対する学生の評価が確実に上がってきていることを示している。

質問2項目が加えられた17年度前学期以降殆どの項目において、ドラスティックな変化（伸び）がなく、殆どが0.1～0.2ポイント以内の変化にとどまっていたが、今回上昇が見られたことは、FD活動の成果であり、教員が講義内容の改善に真摯に取り組んできたことの表れと評価できる。

質問9の評点は、前回までは質問項目のなかで一番低い3.0にとどまっていたが今回は0.2ポイントの上昇であった。上昇したといっても最も低い評点であるので、これに満足することなく、自学自習促進のための指導に関しては、科目ごとの必要性の有無や具体的方法と併せて検討すべきと考えられる。

法人化直後（16年度前学期）と比べると、学生の評価は上がっている。

教員の教え方に関する項目は3.2～3.6、「総合満足度」は3.4で、いずれも前年度より0.1～0.2ポイント上昇した。

教員の教え方のうち説明の仕方や学生の意欲を引き出す教え方に関わる項目の評点が低かった。

以上の点を踏まえ、今後引き続き検討を進めていく必要がある。

【2】科目群ごとの分析

【2-1】科目群ごとの平均、全体および前年度との比較

共通教育科目を16の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。かつこ内の科目数は開講科目数ではなく、授業評価が提出された科目数である。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している(±0.1ポイント以内は、そのままにしてある)。

なお、「初修外国語」は通年の評価である(前期のみの評価は原則として実施していない)。

質問項目		学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.4
大学 教育 基礎 科目	(1)日本語コミュニケーション(27 科目)	3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5
	(2)情報処理入門(22 科目)	3.9	3.5	3.3	3.6	3.2	3.3	3.1	3.1	2.9	3.7	3.6	3.3
	(3)英語(30 科目)	3.9	3.4	3.0	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4
	(4)コミュニケーション英語(27 科目)	3.9	3.5	3.1	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.8	3.8	3.6
	(5)保健体育科目(25 科目)	3.9	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.6	3.5	3.7
主題 教養 科目	(6)現代の社会と倫理(4 科目)	3.9	3.5	3.3	3.7	3.4	3.5	3.3	3.3	2.9	3.5	3.5	3.4
	(7)人間と文化(12 科目)	3.9	3.3	3.1	3.4	3.3	3.1	3.0	3.1	2.8	3.5	3.5	3.2
	(8)現代社会の課題(9 科目)	3.9	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	2.9	3.5	3.6	3.3
	(9)自然と生命(22 科目)	3.9	3.3	3.0	3.5	3.1	3.1	3.0	3.0	2.8	3.5	3.5	3.2
選択 教養 科目	(10)文化・社会系(8 科目)	3.8	3.1	3.0	3.5	3.2	3.0	3.0	3.0	2.8	3.3	3.4	3.2
	(11)科学・技術系(10 科目)	3.9	3.1	2.8	3.5	3.0	3.1	2.9	2.9	2.7	3.2	3.5	3.0
	(12)生命科学系(6 科目)	3.9	3.2	3.0	3.6	3.2	3.3	3.2	3.3	3.0	3.5	3.5	3.3
	(13)複合・学際系(2 科目)	4.0	3.6	3.5	3.9	3.8	3.8	3.6	3.6	3.2	3.8	3.8	3.7
	(14)生涯学習系(5 科目)	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.6	3.5	3.7
	(15)外国語系(8 科目)	3.9	3.5	3.1	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.6	3.6	3.4
	(16)日本語・日本事情(4 科目)	4.0	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.7	3.7	4.0	3.9	3.9

1)大学教育基礎科目

- ・「日本語コミュニケーション」は、ほぼ全体を通して全科目平均より高い評価を受けており、12項目中3項目において0.2ポイント高い。
- ・「情報処理入門」は、教員の教え方(質問4～9)6項目のうちの5項目において、全科目平均より0.2～0.3ポイント低い。
- ・「英語」は、平均でみれば、全科目平均とほぼ同程度の評価である。
- ・「コミュニケーション英語」は、全科目平均より、質問5, 6, 7, 9および総合点で0.2ポイント高い。
- ・「保健体育科目」は、ほぼ全体を通して高い評価を受けている。

2)主題教養科目

- ・「現代の社会と倫理」は、全科目平均とほぼ同程度の評価であるが、質問9は0.3ポイント低い。
- ・「人間と文化」は、全体を通して全科目平均より低い評価を受けており、質問4～9の6項目のうち5項目において、全科目平均より0.2～0.4ポイント低い。
- ・「現代社会の課題」は、質問9において、全科目平均より0.3ポイント低い。
- ・「自然と生命」は、全科目平均より総合点が0.2ポイント低く、質問1と質問10を除くすべての項目で低い。質問9は0.4ポイント低い。

3)選択教養科目、日本語科目

- ・「文化・社会系」、「科学・技術系」は、全体を通して全科目平均より低い評価を受けており、質問5～9が全科目平均より0.2～0.5ポイント低い。
- ・「生命科学系」は、全科目平均と比較し4項目で低い。
- ・「複合・学際系」、「生涯学習系」はほぼ全体を通して高い評価を受けており、質問5～8や質問12(総合満足度)等の8～9項目において、全科目平均より0.2ポイント以上高い。
- ・「外国語系」は、全科目平均とほぼ同程度の評価である。
- ・「日本語・日本事情」は、受講生が2～6名という限定されたなかでの評価であるが、すべての項目で概ね高い評価を受けている。

平均でみれば、「日本語コミュニケーション」、「コミュニケーション英語」、「保健体育科目」、「複合・学際系」、「生涯学習系」、「日本語・日本事情」は、全科目平均より高い評価の項目が多く、他方、「情報処理入門」、「人間と文化」、「自然と生命」、「文化社会系」、科学技術系は、低い評価の項目が多い。

これら以外の科目は、全科目平均と概ね同程度の評価といえる。

【2-2】前年同学期との比較

次に、科目群ごとに前年（平成19年度）前学期と比較する。下表において、評価が0.2ポイント以上、上がった項目には★を、0.1ポイント上がった項目には☆を付けている。他方、評価が0.2ポイント以上下がった項目には▼を、0.1ポイント下がった項目には▽を付けている。

なお、同学期どうしであっても、各群ともに担当教員、開講科目やその数に変化があるため、必ずしも厳密な比較になり得ないことは申し添えておきたい。

また、受講生が2～6名と少ない「日本語・日本事情」は割愛する。

①大学教育基礎科目

質問項目			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大学 教育 基 礎 科 目	(1) 日本語コミュニケーション	19前	3.9	3.6	3.2	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.7	3.7	3.5
		20前			★	★	☆			☆	★		▽	
			3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5
	(2) 情報処理入門	19前	3.9	3.2	2.7	3.3	2.9	3.0	2.8	2.7	2.7	3.5	3.4	3.0
		20前		★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
			3.9	3.5	3.3	3.6	3.2	3.3	3.1	3.1	2.9	3.7	3.6	3.3
	(3) 英語	19前	3.9	3.3	2.9	3.6	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.7	3.6	3.3
		20前		☆	☆		☆	☆	☆	☆	☆		☆	☆
			3.9	3.4	3.0	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4
	(4) コミュニケーション英語	19前	3.9	3.5	3.0	3.6	3.5	3.5	3.3	3.3	3.4	3.7	3.7	3.4
		20前			☆		☆	☆	★	☆		☆	☆	★
			3.9	3.5	3.1	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.8	3.8	3.6
	(5) 保健体育科目	19前	3.9	3.8	3.5	3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.0	3.6	3.5	3.7
		20前			☆			☆	☆	☆	★			
			3.9	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.6	3.5	3.7

すべての科目群の多くの項目で評価の上昇を示し、情報処理入門は質問1を除くすべてで0.2ポイント以上上昇している。

総合評価は5科目中3科目で上昇している。

大学教育基礎科目においては、評価は全体として上昇している。

②主題教養科目

質問項目			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主題 教養 科目	(6) 現代の社会と倫理	19前	3.9	3.3	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.7	3.3	3.3	3.2
		20前		★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	(7) 人間と文化	19前	3.9	3.2	3.0	3.4	3.0	2.9	2.8	2.9	2.6	3.3	3.3	3.0
		20前		☆	☆		★	★	★	★	★	★	★	★
	(8) 現代社会の課題	19前	3.9	3.3	3.1	3.4	3.3	3.1	3.0	3.1	2.8	3.5	3.5	3.2
		20前		☆	★	☆	☆	★	☆	☆	☆	☆	★	☆
	(9) 自然と生命	19前	3.8	3.2	3.0	3.5	3.3	3.1	3.1	3.1	2.8	3.4	3.4	3.2
		20前	3.9	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	2.9	3.5	3.6	3.3
		19前	3.9	3.2	2.9	3.5	3.1	3.2	3.0	2.9	2.9	3.5	3.4	3.1
		20前		☆	☆			▽		☆	▽		☆	☆

「現代の社会と倫理」では、質問1を除く11項目で0.2ポイント以上評価が上がっている。

「人間と文化」では、10項目で(そのうち8項目で0.2ポイント以上)評価が上がっている。

また、「現代社会の課題」はすべてで評価が上がっている。

「自然と生命」は、5項目で上昇したが2項目では低下している。

全科目とも総合評価は上昇している。

主題教養科目の評価は、全科目とも評価は上がっている。

③選択教養科目・専門基礎科目

質問項目			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
選択教養科目	(10) 文化・社会系	19前	3.8	3.3	3.1	3.5	3.4	3.1	3.2	3.2	3.0	3.4	3.4	3.3
		20前		▼	▽		▼	▽	▼	▼	▼	▽		▽
	(11) 科学・技術系	19前	3.8	3.3	3.0	3.5	3.2	3.0	3.0	3.0	2.8	3.3	3.4	3.2
		20前	☆	▼	▼			▽	▼	▼	▽	▼		▼
	(12) 生命科学系	19前	3.9	3.2	3.0	3.6	3.2	3.4	3.2	3.2	2.8	3.5	3.4	3.3
		20前	☆	▼	▼			▽	▼	▼	▽	▼		▼
	(13) 複合・学際系	19前	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.4	3.5	3.7	3.6
		20前	☆		☆	★	★	☆		▽	▼	★	☆	☆
	(14) 生涯学習系	19前	4.0	3.6	3.5	3.9	3.8	3.8	3.6	3.6	3.2	3.8	3.8	3.7
		20前	3.9	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.2	3.1	3.3	3.6
	(15) 外国語系	19前	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.6	3.5	3.7
		20前	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.6	3.5	3.7

選択教養科目においては、多くの項目で評価が低下し、総合評価では「文化社会系」で0.1ポイント、「科学・技術系」0.2ポイント、「外国語系」で0.4ポイント低下した。

一方、「複合・学際系」と「生涯学習系」においては、項目により上下がみられるが、総合評価は上昇している。

選択教養科目においては、
評価が上がった科目群と下がった科目群がある。

【2-3】科目単位でみた分布

平均でみた科目群ごとの特徴は以上の通りであるが、当然ながら、同一科目群の中でも科目により評価に違いがある。では、科目別にみた場合、評価点はどのような分布をしているのか。過去4回の報告書と同様に、今回も科目単位での分布をみていくことにする。

下の表は、学生の「総合満足度」を示す質問12と各項目との相関係数(単相関)を計算したものである。「教員の教え方」に関する項目質問4～9の平均相関係数は0.92と高く、これは最近3期(18年度後学期0.94, 19年度前学期0.94及び19年度後学期0.93)における計算結果とほぼ同様となった。質問5～8との相関はいずれも0.8以上であり、質問7と質問8との相関は特に高く0.9以上であった。

従って、「わかりやすさ」や「意欲・好奇心を掻き立てる教え方」を行うことが学生の「総合満足度」の向上につながることが、今回の結果からも改めて確認される。このことは重要である(各質問項目の内容は5頁を参照)。

また、質問2(学生の受講態度)や質問3(学生の到達度)と総合評価との相関も各々0.70, 0.71と比較的高い。さらに、表示していないが、質問2及び3と質問5～8の相関をみると、0.58～0.72の値を示している。このことから、教員の教え方の良し悪しが学生の受講態度や学生自身の到達度(理解度)にも大きく影響し、ひいては学生の満足度にもつながっていることが示唆される。

「総合満足度」(質問12)と各項目との相関係数(平成20年度前学期)

学生自身			教員の教え方など					
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0.15	0.70	0.71	0.61	0.87	0.86	0.90	0.91	0.66
学習環境			複数項目の平均					
10	11	1-3 平均	4-9 平均	10-11 平均	全項目平均			
0.57	0.42	0.72	0.92	0.57	0.93			

以下、これまでの報告書と同様に、「総合満足度」(質問12)と「教員の教え方」の平均値(質問4～9の平均値)に着目して整理してみよう。

図1～15は、科目群ごとに、横軸に「教員の教え方」の平均値を、縦軸に「総合満足度」をとり、各科目の値をプロットしたものである。左欄の図(図○-a)が20年度前学期、右欄の図(図○-b)が19年度前学期である(ただし、①両指標ともに同じ値である科目も存在し、これらは図示する際に点[マーカー]が重なるため科目数とマーカーの数は必ずしも一致していないこと、②19年度の図の目盛の下限值が1.5と2のものがあることに留意。なお、「日本語・日本事情」の図は割愛)。

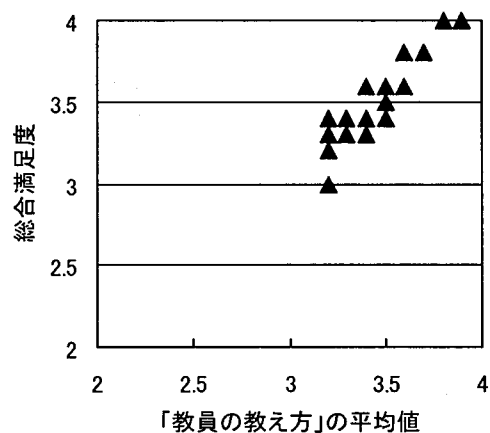


図 1-a 日本語コミュニケーション (H20 前期)

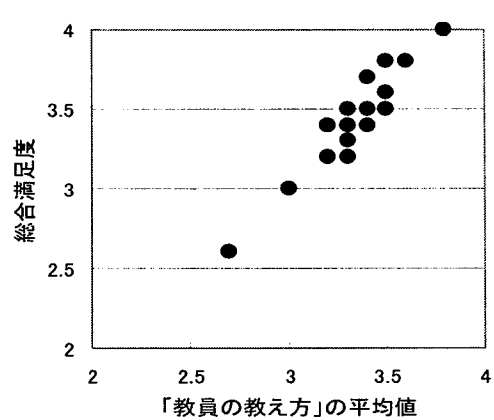


図 1-b 日本語コミュニケーション (H19 前期)

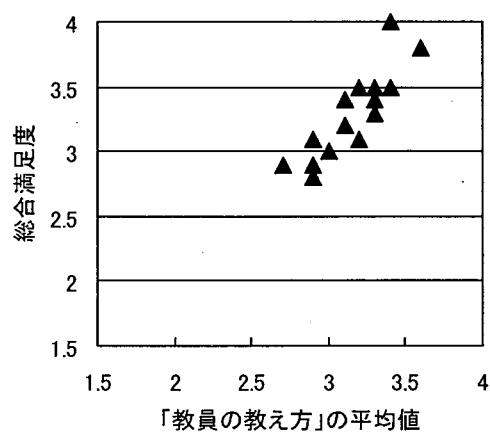


図 2-a 情報処理入門 (H20 前期)

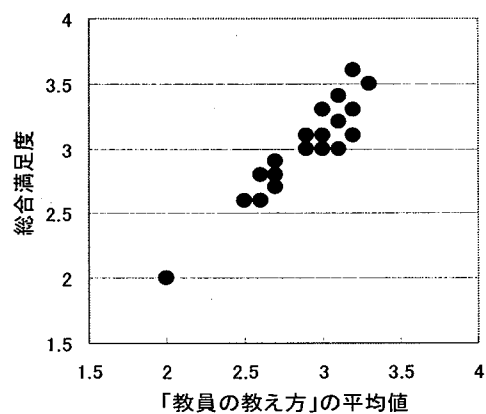


図 2-b 情報処理入門 (H19 前期)

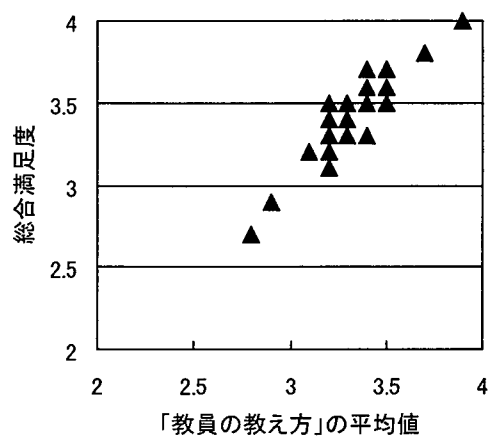


図 3-a 英語 (H20 前期)

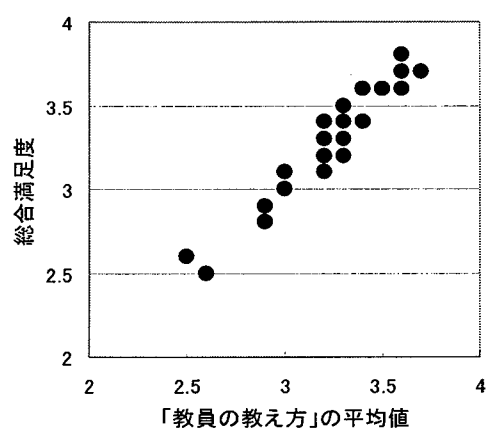


図 3-b 英語 (H19 前期)

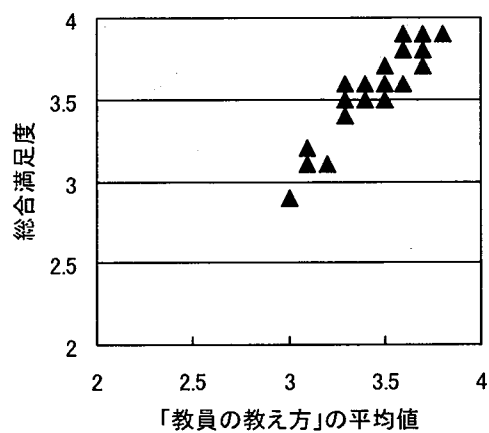


図 4-a コミュニケーション英語 (H20 前期)

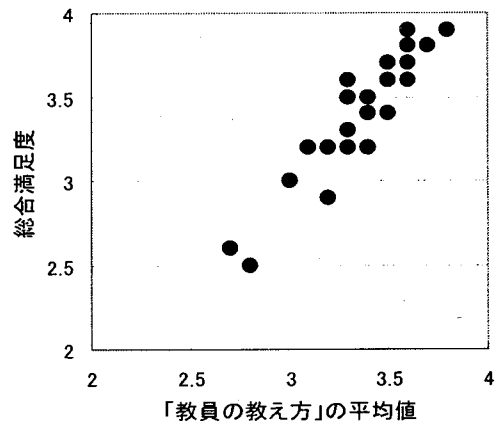


図 4-b コミュニケーション英語 (H19 前期)

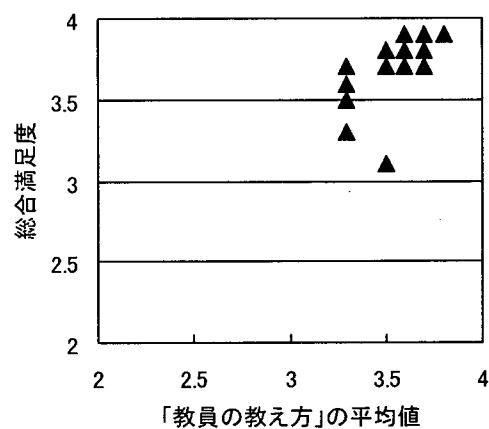


図 5-a 保健体育科目 (H20 前期)

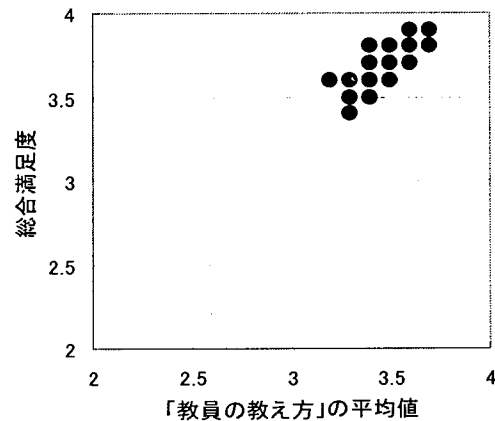


図 5-b 保健体育科目 (H19 前期)

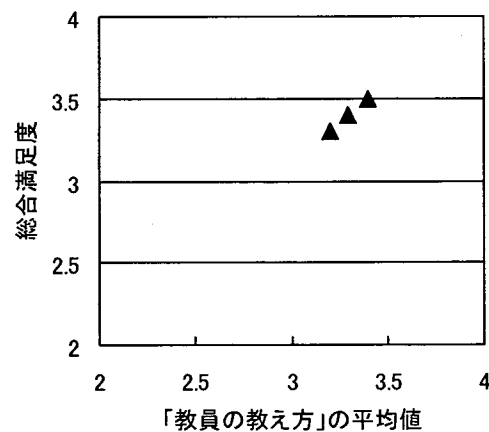


図 6-a 現代の社会と倫理 (H20 前期)

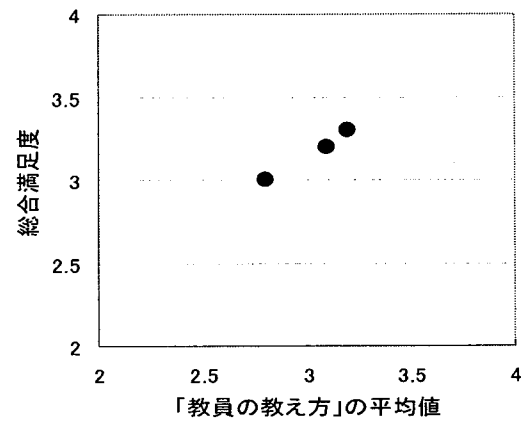


図 6-b 現代の社会と倫理 (H19 前期)

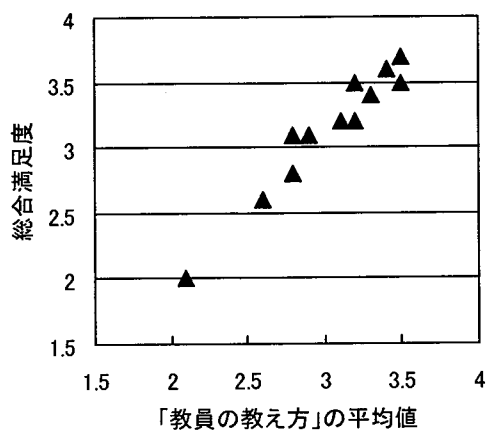


図 7-a 人間と文化 (H20 前期)

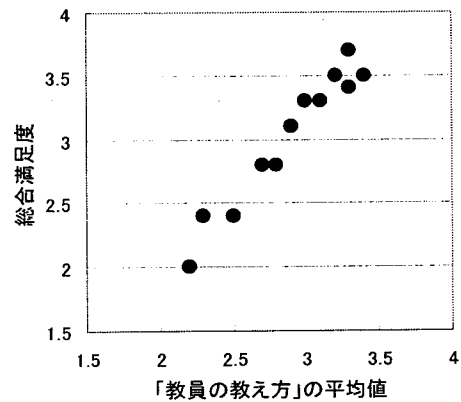


図 7-b 人間と文化 (H19 前期)

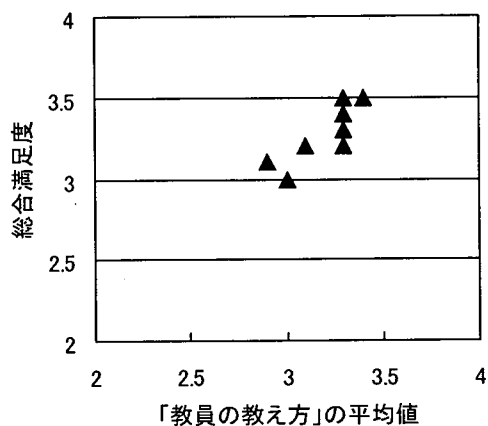


図 8-a 現代の課題 (H20 前期)

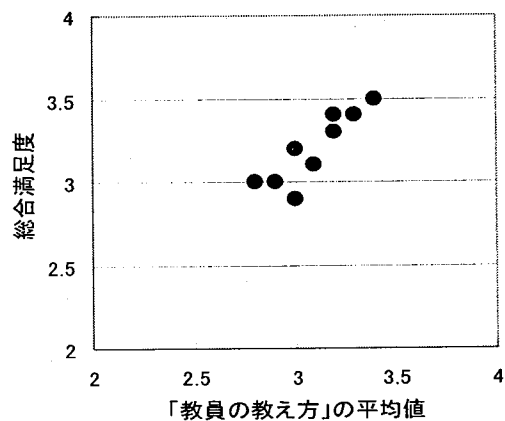


図 8-b 現代の課題 (H19 前期)

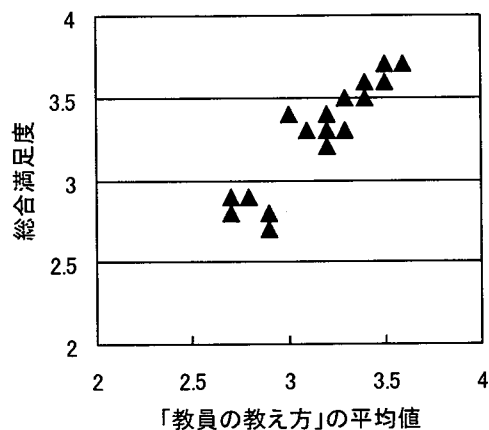


図 9-a 自然と生命 (H20 前期)

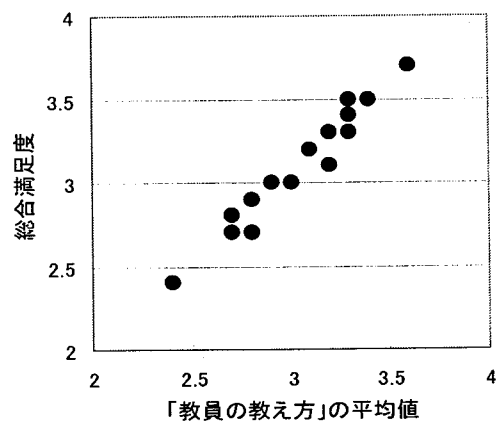


図 9-b 自然と生命 (H19 前期)

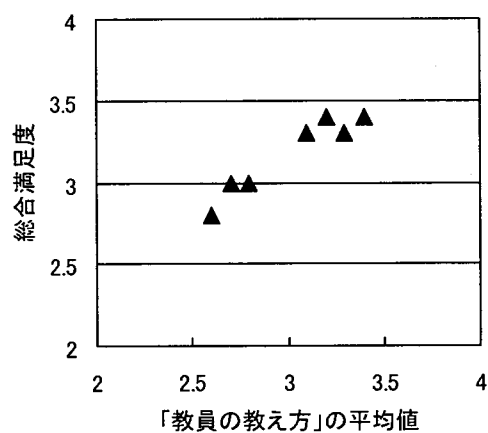


図 10-a 文化・社会系 (H20 前期)

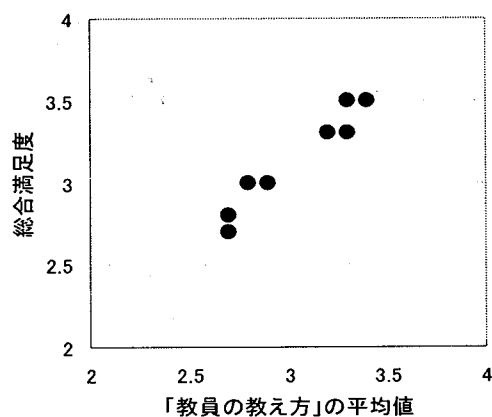


図 10-b 文化・社会系 (H19 前期)

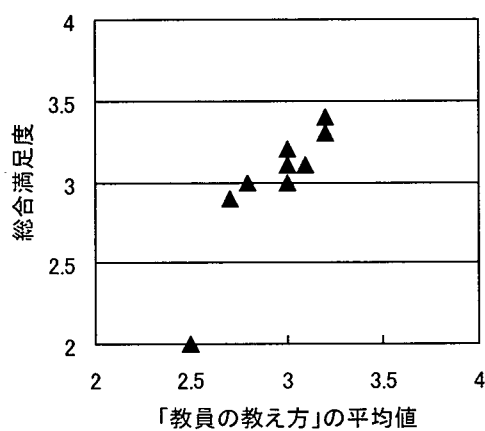


図 11-a 科学・技術系 (H20 前期)

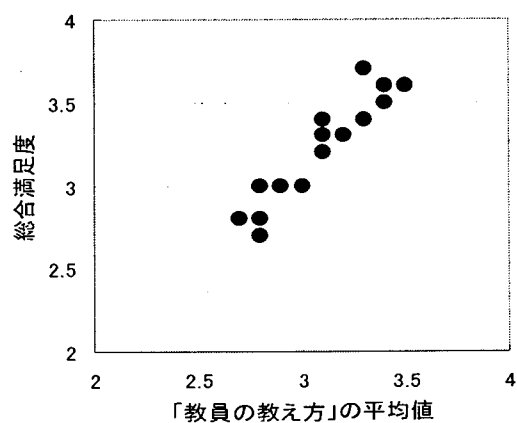


図 11-b 科学・技術系 (H19 前期)

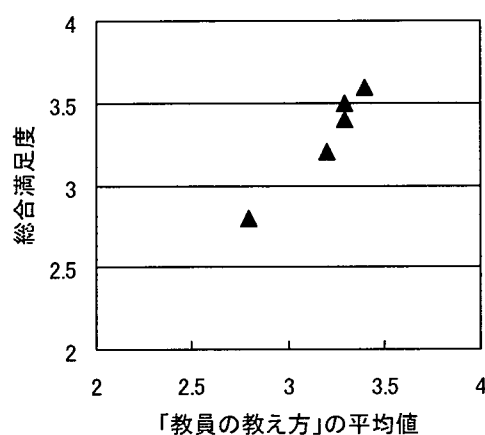


図 12-a 生命科学系 (H20 前期)

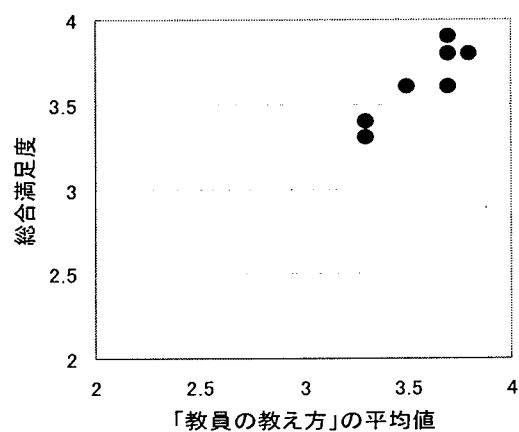


図 12-b 生命科学系 (H19 前期)

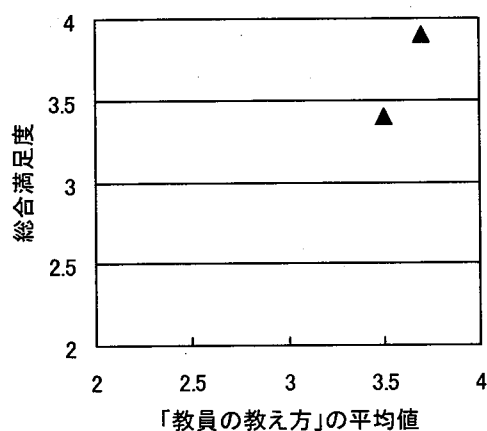


図 13-a 複合・学際系 (H20 前期)

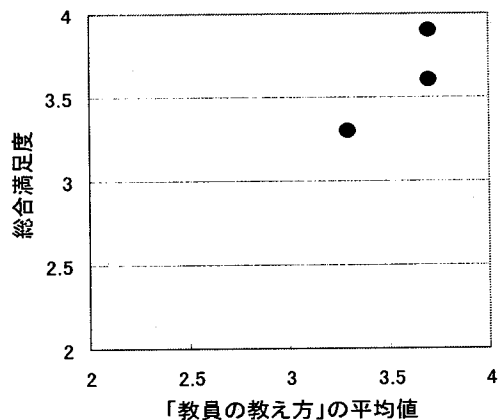


図 13-b 複合・学際系 (H19 前期)

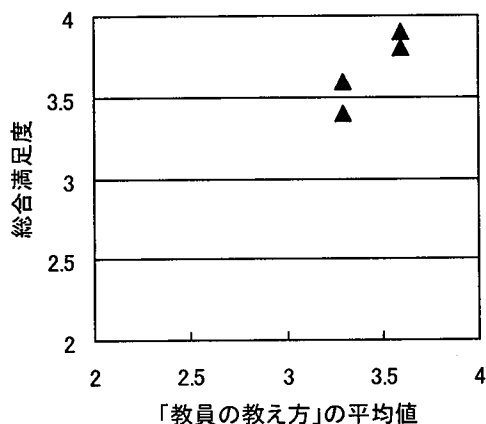


図 14-a 生涯学習系 (H20 前期)

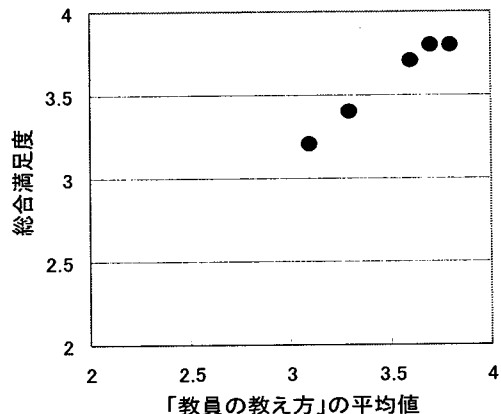


図 14-b 生涯学習系 (H19 前期)

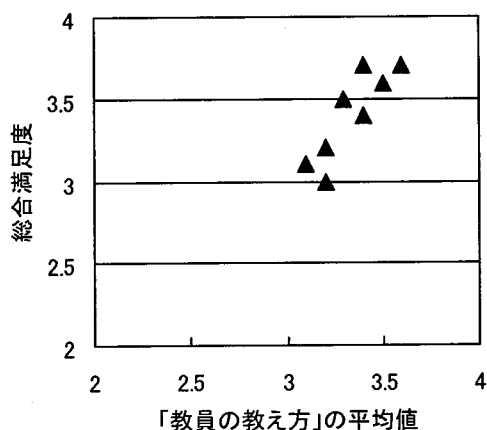


図 15-a 外国語系 (H20 前期)

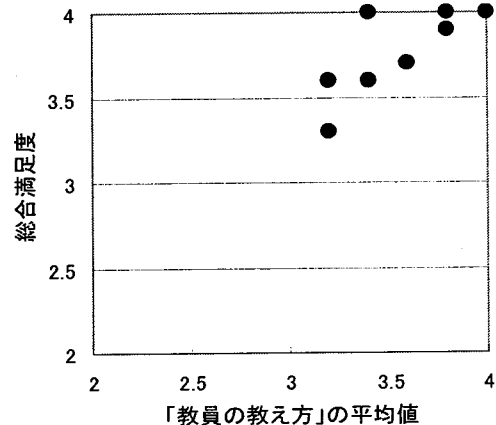


図 15-b 外国語系 (H19 前期)

科目群により含まれる科目数が異なるため、科目群ごとの厳密な比較はできないが、それでも以下の特徴は指摘できよう。後掲の教員の教え方と総合満足度に関する度数分布図(図 16 と図 17)と表(表 1 と表 2)を併せて参照されたい。また、図 18 と図 19 には 18～20 年度前学期の分布の推移を示している。

①20 年度前学期における分布

- ・ 科目による「ばらつき」の有無をどのようにとらえるか、判断が分かれるところであろうが、少なくとも「総合満足度」において 3.0 をクリアしているかどうかを目安に置くならば、次の特徴がみられる。
- ・ すなわち、すべての科目が「総合満足度」3.0 をクリアしている科目群は、「日本語コミュニケーション」、「保健体育科目」、「現代の社会と倫理」、「現代社会の課題」、「複合・学際系」、「生涯学習系」、「外国語系」の6科目群である。また9割以上が「総合満足度」3.0 をクリアしているのは、「コミュニケーション英語」、「英語」2科目群である。これらの8科目群は、「3.0 をクリア」という視点からみれば「ばらつきが小さい」ということになる。
- ・ 他方、「総合満足度」が 3.0 に満たない科目が 1 割以上の科目群は、「情報処理入門」、「人間と文化」、「自然と生命」、「文化・社会系」、「科学・技術系」、「生命科学系」である。これら科目群は、「3.0 をクリア」という視点からみれば「ばらつきが大きい」ということになる。このなかでも「人間と文化」と「科学・技術系」でばらつきが大きかった。これら6科目群において、全科目平均と比べて評点の低い項目が多いのは、こうした科目の存在が影響しているものといえよう。

②過去 2 年間(18 年度および 19 年度)との比較

- ・ 最近の4回の報告書において、殆どの科目群において前年同学期と似通った分布傾向を示していることを指摘したところであるが、今回の分析においても同様となった。すなわち、科目による評価の偏り具合や、評価の高い科目とやや低い科目の存在状況といった科目群ごとの特徴は、年度が異なっても同様であること。このことが、まさに5度にわたって検証されたことになる。
- ・ しかしながら、教員の教え方および総合満足度のどちらもほとんどの科目で分布が全体的に右上方に移動している。全体で見ると過去 2 年間と比較し、評点の低い科目が減少するとともに高い科目が増加しており、このことが当然ながら、平均でみた評点の上昇に結びついている。
- ・ 改めて述べると、4年半の期間を通してみれば、授業評価の始まった 16 年度から比べれば学生の評価は確実に上がってきており、教え方における教員自身の改善・工夫によるところが大きいと考えられる。これは素直に評価すべきである。
- ・ 今回並びに最近の結果からいえることは、第1に、科目別にみた分布は4年半を通して類似した傾向にあること、すなわち、高い評価の得られている科目が多く存在する一方で、評価のやや低い科目が依然として存在していることである。第2に、科目群や科目により違いは

あるものの、全体で見れば、学生の評価は上昇している。

- ・ 第1の点に関し、クリアすべき評価点の目安を「あてはまる」の評点である 3.0 に置くならば、学生の「総合満足度」がこの基準に満たない科目は、17 年度前学期は全 223 科目中 40 科目 (17.9%) 存在した。これに対し、18 年度前学期は、全 229 科目中 31 科目 (13.5%) と、その数は減少した。19 年度前期は、全 227 科目中 34 科目 (15%) で増加したが、今回は全 221 科目中 19 科目 (8.7%) であり、大幅に減少した。
- ・ 第2の点に関しては、「教員の教え方」のうち、授業の内容や教員の話し方、説明の仕方に直結する質問5～8や「総合満足度」(質問 12) は、全体平均で見れば今回は 3.2～3.6 の評点を達成している。
- ・ 前回の報告書でも述べたことではあるが、以上の結果については、「これで(概ね)妥当」とみるべきか、あるいは「まだ不十分」とみるべきか、様々な受け止め方があろう。また、両年度における担当教員の違いや回収された科目数の違い、受講する学生の違いやその時々の主観等があるため評価の高低に一喜一憂すべきではないし、「学生の評価」イコール「授業の評価」というわけでも、勿論ない。
- ・ ただし、今回並びにこれまで蓄積された分析結果は、客観的かつ貴重なデータである。学生に対する教育の充実が、教員自身の日々の教育研究活動にも一層の充実(感)と発展をもたらすものと前向きに受け止め、本報告書の結果を有効活用して頂ければ幸甚である。

【学生による授業評価結果のまとめ】

- 4 年間半における動向をみると、共通教育への F D 活動は成果を挙げつつあるといえる。
- 最近 3 年半の評価はほぼ横ばい状態であったが、平成 20 年度は多くの科目で上昇した。ただし科目による評価の差は依然として大きく、評価が低下した科目もある。
- こうした点を改めて検証するとともに、今回の結果に満足することなく、教員各自が前向きに受け止め、より一層の教育改善に向けて取り組みを継続していくことが望まれる。

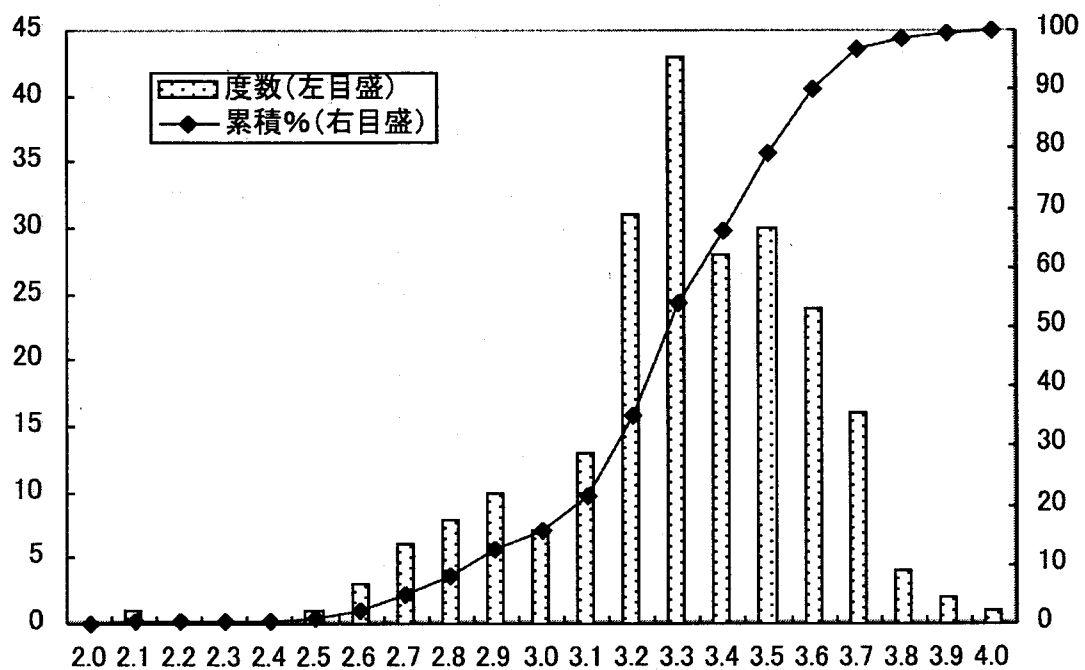


図 「教員の教え方」の平均の度数分布と累積%（全科目）

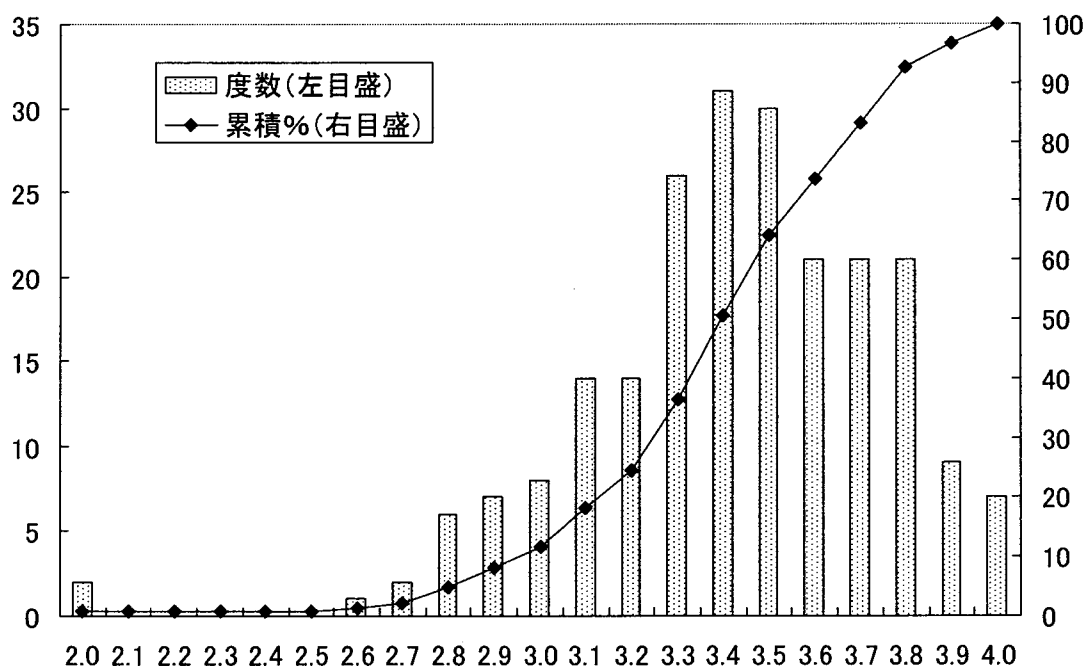


図 「総合満足度」の度数分布と累積%（全科目）

「教員の教え方」(質問4～9)の平均値の度数分布(該当科目数と割合:平成20年度前半期)

(上段:科目数, 下段:割合)

「教員の教え方」の平均値	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	計
全体	0	1	0	0	0	1	3	6	8	10	7	13	31	43	28	30	24	16	4	2	1	228
	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.3	2.6	3.5	4.4	3.1	5.7	13.6	18.9	12.3	13.2	10.5	7.0	1.8	0.9	0.4	100.0
(1)日本語コミュニケーション													5	4	6	3	5	2	1	1		27
													18.5	14.8	22.2	11.1	18.5	7.4	3.7	3.7		100.0
(2)情報処理入門								1		5	1	2	2	7	3		1					22
								4.5		22.7	4.5	9.1	9.1	31.8	13.6		4.5					100.0
(3)英語									1	1		1	8	6	5	6		1		1		30
									3.3	3.3		3.3	26.7	20.0	16.7	20.0		3.3		3.3		100.0
(4)コミュニケーション英語											1	2	1	3	2	7	4	6	1			27
											3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	25.9	14.8	22.2	3.7			100.0
(5)保健体育科目														4		8	7	5	1			25
														16.0		32.0	28.0	20.0	4.0			100.0
(6)現代の社会と倫理													1	2	1							4
													25.0	50.0	25.0							100.0
(7)人間と文化		1					1		2	1		1	2	1	1	2						12
		8.3					8.3		16.7	8.3		8.3	16.7	8.3	8.3	16.7						100.0
(8)現代社会の課題										1	1	1		5	1							9
										11.1	11.1	11.1		55.6	11.1							100.0
(9)自然と生命								2	1	2	1	2	3	3	4	2	2					22
								9.1	4.5	9.1	4.5	9.1	13.6	13.6	18.2	9.1	9.1					100.0
(10)文化・社会系							2	2	2			2	3	2	2							15
							13.3	13.3	13.3			13.3	20.0	13.3	13.3							100.0
(11)科学・技術系						1		1	1		3	1	3									10
						10.0		10.0	10.0		30.0	10.0	30.0									100.0
(12)生命科学系									1				1	3	1							6
									16.7				16.7	50.0	16.7							100.0
(13)複合・学際系																1		1				2
																50.0		50.0				100.0
(14)生涯学習系														2			3					5
														40.0			60.0					100.0
(15)外国語系												1	2	1	2	1	1					8
												12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5					100.0
(16)日本語・日本事情																	1	1	1		1	4
																	25.0	25.0	25.0		25.0	100.0

「総合満足度」(質問12)の度数分布(該当科目数と割合・平成20年度前学期)

(上段:科目数, 下段:割合)

「総合満足度」の評点	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	計
全体	2	0	0	0	0	0	1	2	6	7	8	14	14	26	31	30	21	21	21	9	7	220
	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	2.7	3.2	3.6	6.4	6.4	11.8	14.1	13.6	9.5	9.5	9.5	4.1	3.2	100.0
(1)日本語・コミュニケーション											1		1	6	7	1	5		4		2	27
											3.7		3.7	22.2	25.9	3.7	18.5		14.8		7.4	100.0
(2)情報処理入門									1	2	1	4	1	1	4	6			1		1	22
									4.5	9.1	4.5	18.2	4.5	4.5	18.2	27.3			4.5		4.5	100.0
(3)英語								1		1		1	3	8	3	5	3	3	1		1	30
								3.3		3.3		3.3	10.0	26.7	10.0	16.7	10.0	10.0	3.3		3.3	100.0
(4)コミュニケーション英語										1		2	1		1	6	4	3	5	3		26
										3.8		7.7	3.8		3.8	23.1	15.4	11.5	19.2	11.5		100.0
(5)保健体育科目												1		1		1	1	9	8	4		25
												4.0		4.0		4.0	4.0	36.0	32.0	16.0		100.0
(6)現代の社会と倫理														1	2	1						4
														25.0	50.0	25.0						100.0
(7)人間と文化	1						1		1			2	2		1	2	1	1				12
	8.3						8.3		8.3			16.7	16.7		8.3	16.7	8.3	8.3				100.0
(8)現代社会の課題											1	1	2	1	2	2						9
											11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	22.2						100.0
(9)自然と生命								1	2	2			1	5	2	3	3	3				22
								4.5	9.1	9.1			4.5	22.7	9.1	13.6	13.6	13.6				100.0
(10)文化・社会系								1		2			2	3								8
								12.5		25.0			25.0	37.5								100.0
(11)科学・技術系	1									1	2	2	1	1	2							10
	10.0									10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0							100.0
(12)生命科学系									1				1		1	2	1					6
									16.7				16.7		16.7	33.3	16.7					100.0
(13)複合・学際系															1					1		2
															50.0					50.0		100.0
(14)生涯学習系															1		1		2	1		5
															20.0		20.0		40.0	20.0		100.0
(15)外国語系											1	1	1		1	1	1	2				8
											12.5	12.5	12.5		12.5	12.5	12.5	25.0				100.0
(16)日本語・日本事情																	1				3	4
																	25.0				75.0	100.0

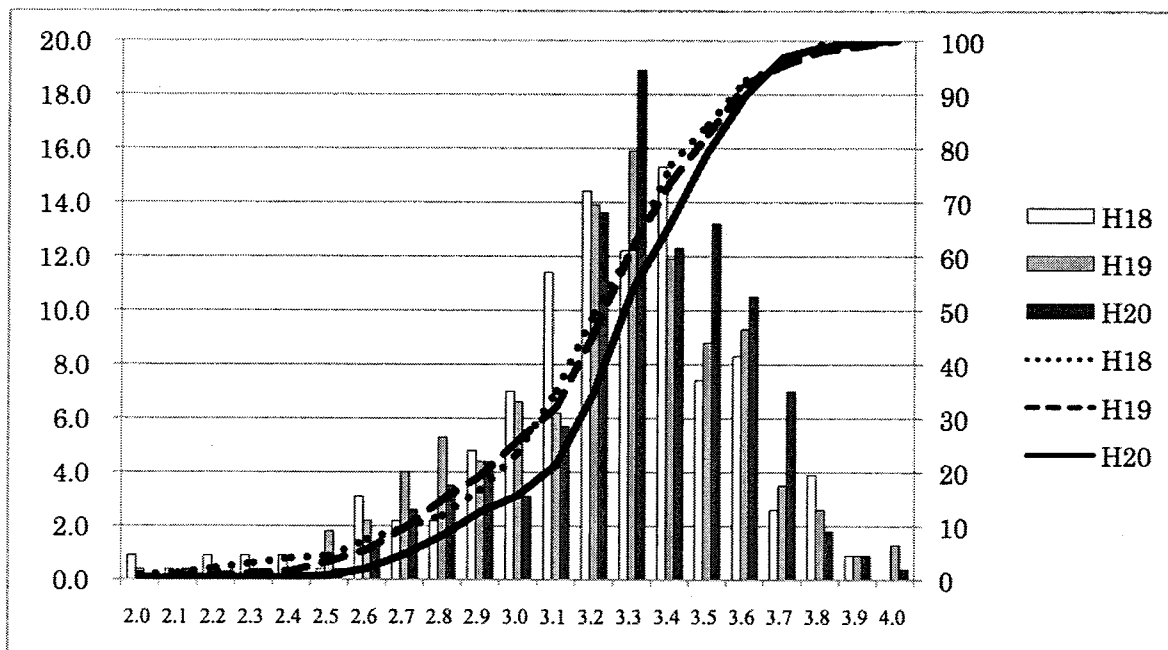


図 「教員の教え方」の平均の度数分布と累積%（全科目）－3年間の推移

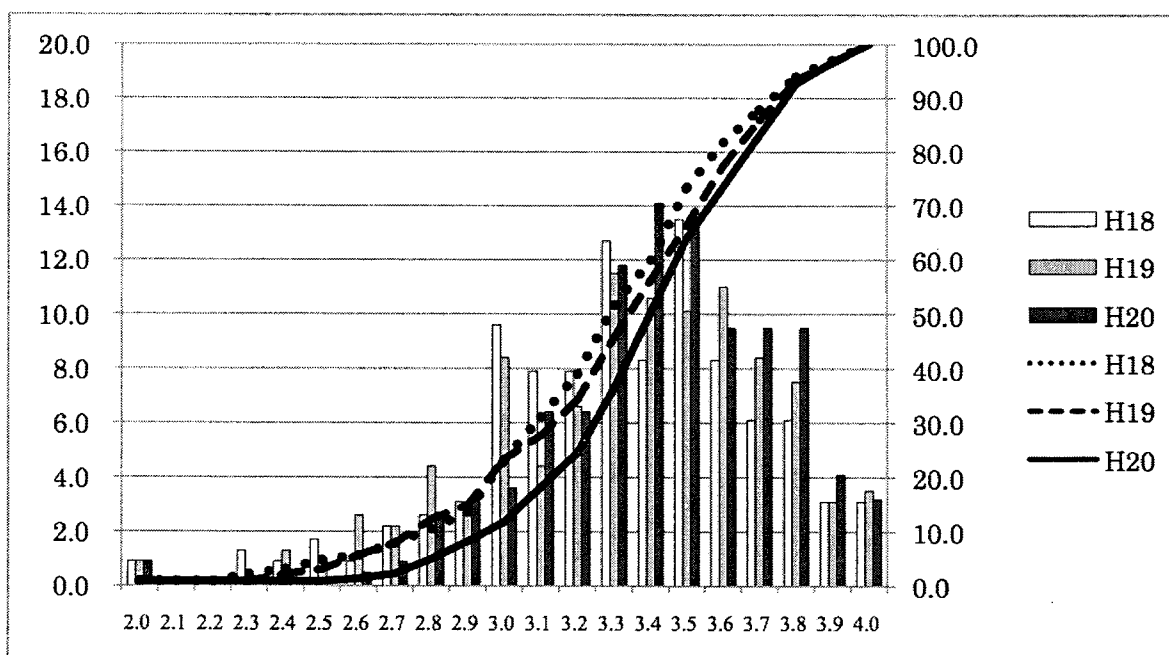


図 「総合満足度」の度数分布と累積%（全科目）－3年間の推移

第3章 教員によるFD活動レポート

【1】学生による評価と教員の自己評価の比較

表3-1に「学生による授業評価」の質問項目と「教員のFD活動レポート」の質問項目A(8ページ参照)の対応を示す。表3-2にFD活動レポート質問項目8, 1-7に対する4段階評価(4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない)の平均値を示す。比較のために学生による授業評価から同様な平均値を対応する項目に併記した。また, 平均値の統計的有意性を判断するために科目区分ごとの平均受講者数と科目合計を追加した。FD活動レポート平均値が学生による授業評価値より高い項目については網掛けで表示した。

表 3-1「学生による授業評価」の質問項目と「教員のFD活動レポート」の質問項目対応表

学生による授業評価		教員のFD活動レポート	
1	私は75%以上授業に出席した。		
2	私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。		
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	8	シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。
4	授業はシラバスに沿って行われた。	1	シラバスに沿って授業を行えた。
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	2	学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。
6	話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。	3	話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
7	重要なポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。	4	重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	5	学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	6	授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。		
11	学習環境は適切だった。		
12	満足できる授業だった。	7	総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

表 3-2 「教員の FD 活動レポート」回答番号の科目ごとの平均値比較

科目区分		回答率 ¹	受講者数 ²	質問項目と平均値 ^{3,4}							
				8	1	2	3	4	5	6	7
大学教育基礎科目	日本語	13/27	41(4-100)	3.6 (3.4)	3.9 (3.7)	3.8 (3.6)	3.5 (3.5)	3.6 (3.4)	3.8 (3.4)	3.2 (3.4)	3.5 (3.5)
	コミュ										
	情報処理入門	10/23	48(21-100)	3.3 (3.3)	3.2 (3.6)	3.6 (3.2)	3.2 (3.3)	3.6 (3.4)	3.1 (3.1)	2.9 (2.9)	2.9 (3.3)
	英語	22/31	42(16-52)	3.3 (3.0)	3.6 (3.6)	3.2 (3.4)	3.4 (3.4)	3.4 (3.3)	3.3 (3.3)	3.5 (3.3)	3.3 (3.4)
	コミュ英語	22/28	40(31-44)	3.6 (3.1)	3.8 (3.6)	3.7 (3.6)	3.7 (3.6)	3.7 (3.5)	3.5 (3.4)	3.6 (3.4)	3.6 (3.6)
	初修外国語 ⁵	20/36	61(2-94)								
主要教育科目	保健体育科目	12/25	41(21-49)	3.2 (3.6)	2.8 (3.7)	3.5 (3.7)	3.3 (3.7)	3.3 (3.6)	3.2 (3.6)	2.2 (3.3)	3.2 (3.7)
	現代の社会と倫理	4/4	138(135-160)	3.0 (3.3)	4.0 (3.7)	3.0 (3.4)	3.0 (3.5)	3.0 (3.3)	3.0 (3.3)	3.0 (2.9)	3.0 (3.4)
	人間と文化	9/12	98(51-160)	3.4 (3.1)	3.7 (3.4)	3.4 (3.3)	3.2 (3.1)	3.3 (3.0)	3.4 (3.1)	2.3 (2.8)	3.3 (3.2)
	現代社会の課題	5/10	118(62-160)	3.4 (3.2)	3.8 (3.6)	3.6 (3.4)	3.2 (3.3)	3.2 (3.2)	3.2 (3.2)	2.8 (2.9)	3.8 (3.3)
	自然と生命	15/22	77(22-160)	3.3 (3.0)	3.8 (3.5)	3.3 (3.1)	3.2 (3.1)	3.1 (3.0)	2.6 (3.0)	3.0 (2.8)	3.1 (3.2)
	文化・社会系	4/8	182(57-324)	3.3 (3.0)	3.5 (3.5)	3.3 (3.2)	3.0 (3.0)	3.0 (3.0)	3.3 (3.0)	3.0 (2.8)	3.3 (3.2)
選択教育科目	科学・技術系	3/11	72(9-179)	3.0 (2.8)	3.7 (3.5)	3.0 (3.0)	3.0 (3.1)	3.3 (2.9)	3.0 (2.9)	3.0 (2.7)	3.3 (3.0)
	生命科学系	4/6	99(34-152)	3.0 (3.0)	4.0 (3.6)	3.0 (3.2)	3.5 (3.3)	3.3 (3.2)	3.5 (3.3)	2.3 (3.0)	3.0 (3.3)
	複合・学際系	1/3	52(13-106)	4.0 (3.5)	4.0 (3.9)	4.0 (3.8)		4.0 (3.6)	4.0 (3.6)	3.0 (3.2)	4.0 (3.7)
	生涯学習系	1/5	123(54-298)	3.0 (3.4)	4.0 (3.6)	4.0 (3.6)	3.0 (3.6)	4.0 (3.6)	3.0 (3.6)	3.0 (3.1)	3.0 (3.7)
	外国語系	6/9	28(9-49)	3.5 (3.1)	4.0 (3.6)	3.3 (3.4)	3.3 (3.4)	3.7 (3.3)	3.5 (3.3)	3.7 (3.3)	3.5 (3.4)
	日本語	1/5	4(2-6)	4.0 (3.8)	4.0 (3.9)	4.0 (3.8)	4.0 (3.8)	4.0 (4.0)	4.0 (3.7)	3.0 (3.7)	4.0 (3.9)
全体平均 ⁶		134/229	61	3.4 (3.2)	3.7 (3.6)	3.5 (3.4)	3.3 (3.4)	3.5 (3.3)	3.3 (3.3)	3.0 (3.2)	3.4 (3.4)

1. 回答科目数/開講科目数。
2. 平均受講者数(最小ー最大クラス受講者数)。
3. ()内の数値は「学生による授業評価」からの平均値。
4. 網掛けセルは学生による授業評価平均値がFD活動レポート値と比べて高い項目。
5. 通年科目。
6. 科目数のみ総計。

【学生と教員の評価の比較(特徴)】

表3-2の結果に基づいて、FD活動レポートと授業評価について比較する。例年どおり、全般の項目において教員側の自己評価が高い傾向がみられ、その数は全体で97項目(平成19年度前期は103項目)である。その他の項目別特徴については従来の傾向をほぼ踏襲しているが、科目区分によっては昨年度とやや変化が見られた。

- (1) 科目区分全体では、質問8(目標への達成度)は教員の自己評価の方が0.2ポイント高く、また「教員の教え方」に直接関係するもののうち、質問4(ポイントを明示し、分かり易く説明)が0.2ポイント、質問1(シラバスに沿っているか)、質問2(理解度やレベルを踏まえたか)、質問5(学習意欲や好奇心を掻き立てる教え方か)は、教員の自己評価の方がやはり0.1ポイント高い。
- (2) このような教員の自己評価の方が高い傾向を(あくまでも科目群の平均でみた傾向であるが)質問項目及び科目区分別にみると、質問8(目標)のうち、大学教育基礎科目では「英語」が0.3ポイント、「コミュニケーション英語」では0.5ポイントも高い。また主要教育科目群では「人間と文化」(0.3ポイント)及び「自然と生命」(0.3ポイント)、さらに選択教育科目群では「文化・社会系」(0.3ポイント)、「複合・学際系」(0.5ポイント)、「外国語系」(0.4ポイント)であった。質問1(シラバス)では、主要科目教育群のうち「現代の社会と倫理」(0.3ポイント)、「人間と文化」(0.3ポイント)、「自然と生命」(0.3ポイント)である。質問2(内容レベル)では、大学教育基礎科目群の「情報処理入門」(0.4ポイント)、選択教育科目群の「生涯学習系」(0.4ポイント)、「外国語系」(0.4ポイント)。質問4(わかりやすさ)では、選択教育科目群のうち「科学・技術系」(0.4ポイント)、「複合・学際系」(0.4ポイント)、「外国語系」(0.4ポイント)。質問6(予習・復習)では選択教育科目群の「外国語系」(0.4ポイント)、質問7(総合満足度)では、主要教育科目群の「現代社会と課題」(0.5ポイント)、選択教育科目群の「科学・技術系」(0.3ポイント)、「複合・学際系」(0.3ポイント)などにおいて教員の高自己評価傾向が著しかった。
- (3) こうした教員と学生間における授業評価のずれの要因を説明することは(科目別に事情はあるにしても)難しい。たとえば質問8では、おそらく目標設定と受講者の達成度測定法に課題があることが伺われるが、その課題を教員自身がどれほど認識しているか、大いに疑問があろう。「大学生なのだから当然これくらいのことはできるはずだ」という思い込み自体を反省する必要があるのではないか。
- (4) 他方、教員の自己評価より学生の授業評価が高い傾向を示す質問項目・科目群も存在する。全体平均では、質問3(教育方法・技術)が0.1ポイント、質問6(予習・復習等を課したか)は0.2ポイント高いに過ぎないが、各科目群別にみると著しく高いものがある。とりわけ質問3では大学教育基礎科目群の「保健体育科目」(0.4ポイント)、主要教育科目群の「現代の社会と倫理」(0.5ポイント)、選択教育科目群の「生涯学習系」(0.6ポイント)が高く、質問6では「人間と文化」(0.5ポイント)、「生命科学系」(0.7ポイント)、「外国語系」(0.4ポイント)、「日本語・日本事情」(0.7ポイント)などにおいて学生の授業評価が教員の自己評価より高

い傾向があった。

- (5) 質問 7(総合満足度)では、「情報処理入門」(0.4 ポイント)、「保健体育科目」(0.5 ポイント)、「現代の社会と倫理」(0.4 ポイント)、「生涯学習系」(0.7 ポイント)において、教員の自己評価より学生の授業評価のほうが高かった。
- (6) 上記(4)(5)の解釈は一概にはできないが、(課題の出し方を含む)教育の方法・技術や科目領域の性格(親しみやすさや必要性など)に関して、学生評価の高さを教員自身が自覚していない科目群が多数存在するということである。これは授業評価において教員と学生の間には評価ポイントにずれがあるという点を含めて、(3)とはまた違った意味で自らの講義スタイルを振り返る必要があるのではないかと。

以上、科目の性質の違いや教員による評価基準等に違いがあるため安易な解釈は差し控えるべきであろうが、教員と学生の意識の差(ズレ)が、毎年、類似した形で見受けられることは強調しておきたい。そのうえで、反省すべきは反省し、逆に見習う点は(講義見学を含めて)FD活動の今後の課題としたい。

なお、表3-2に受講者数(平均、最大、および最小値)も併記した。これと回答結果との相関についての議論は控えるが、参考までにみられたい。

- 全体として、科目の目標・レベル・わかりやすさなどにおいて教員側の自己評価が学生の授業評価より高い傾向にある。
- 他方、教育の方法・技術に関しては、教員の自己評価より学生の授業評価が高い傾向を示す科目群が存在する。
- 自らの授業を反省し、評価のずれの要因分析と来年度への改善が必要。
- ただし、科目・科目群による受講者数や性格等の違いにより、FD活動レポート評価／授業評価比のパターンは明確に異なることには留意すべきである。

【2】教員のFD活動の状況

「1年間で取り組んだFD活動」について集計したものが下表である（FD活動レポートの質問Bの回答結果）。なお、複数科目を担当する教員が同じコメントを記載している場合には重複回答とみなし、まとめて1回答分として集計した。

表 教員のFD活動の状況と意向（複数回答）

	1年間で取り組んだFD活動	
	度数	%
他教員の授業参観	33	26.4
学内外のFD講演会等への参加	47	37.6
他大学のFD活動の視察	6	4.8
その他	30	24.0
無回答	29	23.2
全体（FD活動レポート回収数）	125	

データ：20年度前学期の教員のFD活動レポートより。

「1年間で取り組んだFD活動」としては、「学内外のFD講演会等への参加」が38%と最も高く、次いで「他教員の授業参観」が26%となっている。

また、「その他」のFD活動(24%)としては、以下の内容が挙げられている。

- ・ FD関連資料、文献等を読む（指導書、授業改善資料を含む）
- ・ 自分自身の授業の公開
- ・ 教科書の作成・編集、関連資料の査読
- ・ 他教員との情報交換（テキスト、授業内容、学生相互評価票等）
- ・ 小中高教員の英語授業参加、研修会参加
- ・ 教授法の発展のための独自FD（毎回の授業における学生からの意見聴取等）

以上の結果を考えると、教員は、普段のかつ「身近」な場所でのFDを行っている傾向がみられる。こうした取り組みは引き続き充実させていく必要があると考えるが、同時に、教員自らが積極的に情報交換や教科書の作成・編集、独自のFD（の開発）等を行おうとする事実も確認され、注目される。

他方、無回答が4分の1近い23%を占めており、こうした教員の多くは、FDを特に行ってはいないと思われる。たしかにFD活動自体は教員の自主性に委ねる部分が多く、また日常業務が「多忙」であることが、無回答の理由なのかもしれない。しかし受講生の多様化（という学力低下？）に対応することが学内外から期待されているとすれば、（偏差値云々は置くとしても）われわれ教員自身が真摯に自己の教育活動を反省し、授業改善に取り組むしか他に道はない。改めてFD活動への関心と参加を期待するところである。

第4章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成20年度前学期のすべての共通教育科目(229科目)のうち「学生による授業評価」が提出された221科目のデータを掲載する。(初修外国語は殆どが通年科目なので今回は取り扱わない。従って、清武地区開講で授業評価が提出された前期科目の初修外国語[独語]についても掲載していない。) また、科目名・担当教員名は掲載しない。科目の順番は質問12(満足度)への評価の高い順に並べ直してある。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価である。

また、質問項目は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 満足できる授業だった。

【1】日本語コミュニケーション(27科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	4.0	2.3	4.0	3.9	3.9
2	4.0	4.0	3.3	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.4	4.0	3.8	4.0	3.7	3.8
3	3.8	3.3	2.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.3	3.5	3.7	3.6	3.8	3.3	3.6
4	3.8	3.6	3.3	4.0	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.8	3.5	3.7
5	4.0	3.6	3.6	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7
6	4.0	3.6	3.6	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5	3.3	3.9	3.9	3.8	3.7	3.6
7	4.0	3.6	3.6	4.0	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	4.0	3.9	3.6	3.7	3.6
8	3.6	3.3	3.1	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.9	3.7	3.6	3.3	3.6
9	4.0	3.9	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.5	3.7	3.8	3.6	3.8	3.6
10	3.9	3.7	3.4	3.7	3.5	3.3	3.3	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.4
11	3.9	3.6	3.3	3.8	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5
12	3.9	4.0	3.4	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.8	3.8	3.5	3.7	3.5
13	3.9	3.7	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.7	3.7	3.4	3.6	3.4
14	3.9	3.7	3.4	3.6	3.6	3.7	3.5	3.2	3.4	3.8	3.7	3.4	3.6	3.5
15	3.8	3.6	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5	3.4
16	3.9	3.5	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4	3.5	3.4
17	4.0	3.7	3.5	3.5	3.3	3.3	3.3	3.2	3.5	3.8	3.6	3.4	3.7	3.3
18	3.9	3.6	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.6	3.7	3.4	3.5	3.4
19	3.9	3.5	3.3	3.6	3.4	3.3	3.2	3.1	3.0	3.6	3.7	3.4	3.5	3.2
20	3.9	3.3	3.1	3.4	3.6	3.6	3.3	3.2	3.2	3.7	3.6	3.3	3.4	3.3
21	3.9	3.6	3.2	3.6	3.4	3.5	3.4	3.2	3.3	3.7	3.6	3.3	3.5	3.4
22	4.0	3.6	3.5	3.6	3.6	3.3	3.0	3.3	3.3	3.6	3.3	3.3	3.7	3.3
23	3.9	3.6	3.4	3.5	3.3	3.2	3.2	3.0	3.3	3.5	3.5	3.3	3.6	3.2
24	3.9	3.4	3.2	3.7	3.5	3.5	3.5	2.9	3.0	3.7	3.6	3.3	3.5	3.3
25	3.9	3.4	3.2	3.5	3.3	3.2	3.1	3.1	3.2	3.4	3.4	3.3	3.5	3.2
26	3.9	3.8	3.4	3.3	3.6	3.4	3.0	3.2	2.7	3.7	2.5	3.2	3.7	3.2
27	4.0	3.5	3.3	3.7	3.5	3.1	3.1	3.1	3.0	3.8	3.6	3.0	3.6	3.2

※ 未提出の科目はない。

【2】情報処理入門(23科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	4.0	3.7	3.7	3.5	3.7	3.3	3.5	2.7	3.7	4.0	4.0	3.9	3.4
2	4.0	3.5	3.3	3.8	3.8	3.7	3.5	3.4	3.4	4.0	3.8	3.8	3.6	3.6
3	3.9	3.6	3.2	3.6	3.2	3.6	3.3	3.2	3.0	3.9	3.8	3.5	3.5	3.3
4	4.0	3.7	3.4	3.6	3.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.8	3.7	3.5	3.7	3.4
5	3.9	3.5	3.2	3.8	3.6	3.6	3.6	3.2	3.1	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4
6	4.0	3.6	3.3	3.6	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.8	3.4	3.5	3.6	3.3
7	3.8	3.6	3.3	3.6	3.3	3.5	3.4	3.3	3.2	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3
8	4.0	3.7	3.5	3.9	3.3	3.2	3.2	3.1	2.7	3.8	3.7	3.5	3.7	3.2
9	3.9	3.7	3.3	3.7	3.3	3.3	3.1	3.0	2.7	3.5	3.7	3.4	3.6	3.1
10	4.0	3.5	3.1	3.8	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.4	3.5	3.3
11	3.9	3.2	3.0	3.8	3.1	3.4	3.2	3.3	3.1	3.6	3.7	3.4	3.3	3.3
12	3.9	3.6	3.3	3.6	3.5	3.5	3.3	3.4	3.0	3.5	3.8	3.4	3.6	3.3
13	3.8	3.6	3.3	3.7	3.5	3.4	3.5	3.0	2.8	3.9	3.6	3.3	3.5	3.3
14	3.9	3.4	3.4	3.6	3.1	3.2	3.0	2.9	3.0	3.7	3.5	3.2	3.5	3.1
15	3.9	3.3	3.2	3.6	3.1	3.2	2.8	2.6	2.1	3.8	3.7	3.1	3.4	2.9
16	4.0	3.5	3.3	3.7	3.3	3.4	3.1	3.1	2.9	3.8	3.6	3.1	3.6	3.2
17	3.9	3.6	3.4	3.4	2.9	2.9	2.7	2.7	2.9	3.6	3.5	3.1	3.6	2.9
18	3.9	3.5	3.1	3.5	2.8	2.9	2.8	2.9	2.6	3.6	3.3	3.1	3.5	2.9
19	4.0	3.5	3.2	3.6	3.0	3.1	2.8	2.9	2.8	3.7	3.6	3.0	3.5	3.0
20	4.0	3.5	3.2	3.2	2.8	2.7	2.4	2.6	2.6	3.6	3.3	2.9	3.5	2.7
21	4.0	3.6	3.4	3.4	2.8	3.0	2.8	2.7	2.8	3.5	3.6	2.9	3.6	2.9
22	4.0	3.2	2.8	3.7	3.2	3.0	2.8	2.6	2.6	4.0	4.0	2.8	3.3	2.9

※1 科目が未提出。

【3】英語(31科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	3.9	3.4	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.7	3.9
2	3.9	3.8	3.5	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.4	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7
3	4.0	3.5	3.0	3.7	3.5	3.7	3.7	3.6	3.3	3.8	3.7	3.7	3.5	3.5
4	3.9	3.5	3.3	3.6	3.3	3.5	3.5	3.4	3.3	3.8	3.7	3.7	3.5	3.4
5	3.9	3.4	3.1	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.6	3.5	3.7	3.4	3.5
6	4.0	3.4	3.1	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.5	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5
7	3.9	3.2	3.0	3.6	3.6	3.4	3.5	3.5	3.0	3.8	3.8	3.6	3.3	3.4
8	4.0	4.0	3.3	4.0	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.9	3.8	3.6	3.7	3.5
9	4.0	3.7	3.3	3.6	3.3	3.5	3.3	3.2	3.4	3.8	3.5	3.5	3.6	3.3
10	3.9	3.3	3.1	3.6	3.5	3.6	3.6	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5	3.4	3.5
11	3.7	3.0	2.8	3.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.0	3.6	3.7	3.5	3.1	3.2
12	3.8	3.5	3.2	3.4	3.4	3.5	3.2	3.7	3.4	3.7	3.8	3.5	3.5	3.4
13	3.9	3.6	3.0	3.8	3.6	3.4	3.5	3.4	3.6	3.9	3.5	3.5	3.5	3.5
14	4.0	3.2	3.1	3.6	3.5	3.2	3.4	3.0	3.5	3.8	3.8	3.4	3.4	3.3
15	4.0	3.2	2.9	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	3.5	3.6	3.4	3.3	3.2
16	3.8	3.3	2.8	3.6	3.5	3.5	3.3	3.1	3.2	3.7	3.8	3.4	3.3	3.3
17	3.9	3.4	3.2	3.7	3.7	3.5	3.5	3.1	3.2	3.6	3.6	3.3	3.5	3.4
18	3.9	3.3	3.0	3.6	3.3	3.2	3.0	3.1	3.4	3.7	3.7	3.3	3.4	3.2
19	4.0	3.4	2.8	3.6	3.1	3.3	3.2	3.1	3.4	3.8	3.7	3.3	3.4	3.2
20	3.9	3.4	2.7	3.5	3.3	3.5	3.2	3.3	3.5	3.7	3.8	3.3	3.3	3.3
21	3.8	3.2	2.9	3.6	3.4	3.5	3.4	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4
22	3.9	3.2	2.8	3.2	3.4	3.4	3.5	3.1	3.5	3.6	3.7	3.3	3.3	3.3
23	3.8	3.3	2.6	3.5	3.2	3.4	3.2	3.6	3.3	3.6	3.6	3.3	3.2	3.3
24	3.9	3.3	3.0	3.5	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.5	3.5	3.3	3.4	3.2
25	3.9	3.2	2.8	3.3	3.2	2.9	3.2	2.9	3.2	3.8	3.4	3.2	3.3	3.1
26	3.8	3.3	2.7	3.4	3.1	3.2	3.1	3.3	3.1	3.7	3.6	3.2	3.2	3.2
27	3.7	3.1	2.7	3.5	3.3	3.3	3.2	3.0	3.2	3.6	3.6	3.2	3.1	3.2
28	3.8	3.3	3.0	3.3	3.2	3.4	3.3	3.1	3.3	3.5	3.5	3.1	3.3	3.2
29	3.9	2.9	2.5	3.6	3.1	2.8	2.5	2.4	3.0	3.7	3.5	2.9	3.1	2.9
30	3.9	3.2	2.5	3.4	2.6	2.8	2.6	2.5	3.2	3.6	3.5	2.7	3.2	2.8

※1 科目が未提出。

【4】コミュニケーション英語(28科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.4	3.4	3.8	3.9	3.8	3.9	3.6	3.5	3.9	3.8	3.9	3.5	3.7
2	3.9	3.9	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8
3	3.9	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.5	3.8	3.8	3.9	3.7	3.6
4	3.9	3.8	3.2	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.6	3.7
5	3.9	3.8	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6
6	4.0	3.6	3.1	3.8	3.8	3.9	3.7	3.8	3.5	3.9	3.9	3.8	3.5	3.7
7	3.9	3.7	3.3	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5	3.7	3.8	3.8	3.6	3.6
8	3.9	3.8	3.4	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7
9	3.9	3.9	3.4	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
10	3.8	3.5	3.1	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	3.9	3.8	3.7	3.4	3.5
11	3.9	3.6	3.2	3.7	3.6	3.7	3.7	3.3	3.5	3.8	3.8	3.7	3.5	3.5
12	3.9	3.5	3.2	3.7	3.8	3.8	3.6	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.5	3.7
13	4.0	3.5	2.9	3.7	3.6	3.6	3.1	3.3	2.9	3.7	3.7	3.6	3.4	3.3
14	4.0	3.6	3.1	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.5	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5
15	3.9	3.7	3.0	3.8	3.7	3.8	3.7	3.3	3.6	3.9	3.9	3.6	3.5	3.6
16	3.9	3.6	3.1	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.0	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4
17	3.9	3.3	2.9	3.7	3.6	3.5	3.6	3.2	3.6	3.6	3.7	3.5	3.3	3.5
18	4.0	3.3	3.1	3.7	3.7	3.7	3.5	3.4	3.5	3.7	3.8	3.5	3.4	3.5
19	3.9	3.3	3.0	3.6	3.6	3.6	3.5	3.2	3.0	3.7	3.8	3.5	3.4	3.4
20	3.9	3.5	3.0	3.5	3.3	3.4	3.2	3.3	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4	3.3
21	3.9	3.4	2.9	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4	3.5
22	3.9	3.4	3.1	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.8	3.5	3.4	3.5
23	4.0	3.6	3.1	3.5	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	3.9	3.8	3.4	3.5	3.3
24	3.9	3.4	3.0	3.1	3.2	3.2	3.0	2.9	3.3	3.6	3.7	3.2	3.4	3.1
25	3.9	3.4	2.7	3.5	3.1	3.4	3.1	2.9	3.3	3.6	3.6	3.1	3.3	3.2
26	3.9	3.3	3.0	3.6	3.2	3.1	3.0	2.8	3.2	3.8	3.8	3.1	3.4	3.1
27	3.9	3.1	2.8	3.3	3.2	2.9	2.9	2.8	3.2	3.5	3.5	2.9	3.2	3.0

※1 科目が未提出。

【5】保健体育科目(25 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	3.9	3.6	3.7	3.8	3.9	3.9	3.7	3.6	3.9	3.8	3.9	3.8	3.7
2	4.0	3.8	3.4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.1	3.8	3.9	3.9	3.7	3.7
3	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8
4	4.0	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.2	3.9	3.6	3.9	3.9	3.6
5	4.0	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.4	3.6	3.7	3.8	3.8	3.6
6	3.9	3.7	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.5	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6
7	3.9	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	3.5	3.1	3.4	3.8	3.8	3.7
8	3.9	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.3	3.6	3.3	3.8	3.7	3.5
9	3.9	3.7	3.4	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.2	3.6	3.4	3.8	3.6	3.5
10	3.9	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.3	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6
11	4.0	3.9	3.5	3.7	3.7	3.6	3.5	3.7	3.2	3.7	3.6	3.8	3.8	3.5
12	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.2	3.3	3.5	3.8	3.7	3.5
13	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	2.8	3.8	3.6	3.7	3.7	3.5
14	3.9	3.8	3.6	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6
15	4.0	3.8	3.7	3.7	3.5	3.7	3.5	3.7	3.2	3.7	3.4	3.7	3.8	3.5
16	3.9	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.3	3.5	3.6	3.7	3.7	3.6
17	3.9	3.7	3.4	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.1	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6
18	3.9	3.9	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.8	3.7
19	4.0	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.5	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7
20	3.8	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5	3.6	3.1	3.7	2.4	3.7	3.7	3.5
21	3.9	3.7	3.4	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4	2.9	3.8	3.5	3.7	3.6	3.3
22	3.9	3.6	3.3	3.5	3.5	3.6	3.4	3.2	2.7	3.7	3.4	3.6	3.6	3.3
23	3.8	3.7	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.1	3.4	3.4	3.5	3.6	3.3
24	3.9	3.7	3.4	3.6	3.5	3.3	3.4	3.0	3.0	3.2	3.3	3.3	3.6	3.3
25	3.9	3.9	3.6	3.3	3.6	3.8	3.7	3.6	3.4	3.6	3.0	3.1	3.8	3.5

※ 未提出の科目はない。

【6】主題教養科目(現代の社会と倫理)(4科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.6	3.5	3.7	3.6	3.6	3.4	3.5	3.0	3.2	3.5	3.5	3.6	3.4
2	3.9	3.4	3.2	3.7	3.4	3.4	3.3	3.4	2.7	3.7	3.4	3.4	3.5	3.3
3	3.9	3.4	3.2	3.7	3.3	3.5	3.3	3.3	3.0	3.5	3.4	3.4	3.5	3.3
4	3.9	3.4	3.2	3.6	3.1	3.4	3.2	3.1	2.9	3.4	3.5	3.3	3.5	3.2

※ 未提出の科目はない。

【7】主題教養科目(人間と文化)(12科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.5	3.4	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.1	3.5	3.6	3.7	3.6	3.5
2	3.9	3.7	3.4	3.1	3.6	3.7	3.5	3.5	3.3	3.6	3.7	3.6	3.6	3.4
3	3.9	3.6	3.3	3.7	3.5	3.5	3.2	3.6	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.5
4	3.9	3.1	3.2	3.6	3.6	3.1	3.1	3.1	2.8	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2
5	3.9	3.2	3.0	3.6	3.4	3.6	3.4	3.3	2.8	3.6	3.6	3.4	3.3	3.3
6	3.9	3.2	2.9	3.5	3.3	3.2	3.0	3.2	2.6	3.5	3.5	3.2	3.3	3.1
7	3.8	3.5	3.6	3.7	3.5	3.2	3.2	3.2	2.9	3.4	2.8	3.2	3.6	3.2
8	3.9	3.1	3.0	3.4	3.2	3.0	2.8	2.7	2.7	3.6	3.5	3.1	3.3	2.9
9	3.8	2.8	2.8	3.3	3.1	3.0	2.6	2.9	2.3	3.5	3.3	3.1	3.1	2.8
10	3.9	3.1	2.9	3.3	2.9	2.7	2.6	2.6	2.7	2.9	3.2	2.8	3.3	2.8
11	3.9	3.2	3.0	3.1	3.0	2.7	2.4	2.5	2.4	3.3	3.4	2.6	3.3	2.6
12	3.9	3.2	2.4	3.0	2.0	1.9	1.8	1.9	2.1	3.2	3.1	2.0	3.1	2.1

※ 未提出の科目はない。

【8】主題教養科目(現代社会の課題)(10科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.5	3.4	3.7	3.7	3.4	3.4	3.3	2.9	3.6	3.7	3.5	3.6	3.4
2	3.9	3.6	3.2	3.6	3.5	3.6	3.5	3.3	2.8	3.7	3.7	3.5	3.5	3.3
3	3.8	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.3	3.2	3.0	3.4	3.6	3.4	3.4	3.3
4	3.6	3.4	3.1	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	2.8	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3
5	3.9	3.4	3.2	3.6	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.4	3.5	3.3	3.5	3.3
6	3.9	3.3	2.8	3.4	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1	3.3	3.5	3.2	3.3	3.1
7	3.9	3.5	3.3	3.5	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5	3.2	3.5	3.3
8	3.7	3.2	3.1	3.3	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	3.4	3.4	3.1	3.3	2.9
9	3.8	3.1	2.9	3.5	3.2	3.1	2.9	2.9	2.5	3.4	3.5	3.0	3.2	3.0

※1 科目が未提出。

【9】主題教養科目（自然と生命）（22科目）

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.7	3.5	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6
2	3.9	3.6	3.3	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5
3	3.9	3.7	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6
4	3.8	3.4	3.2	3.7	3.6	3.7	3.7	3.2	3.4	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5
5	3.9	3.6	3.5	3.7	3.4	3.2	3.3	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6	3.6	3.4
6	3.9	3.6	3.2	3.7	3.6	3.5	3.3	3.4	3.3	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4
7	4.0	3.4	3.2	3.6	3.5	3.1	3.5	3.2	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4
8	3.9	3.5	3.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.2	3.3	3.5	3.6	3.5	3.6	3.4
9	3.8	3.5	3.3	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.1	3.5	3.6	3.5	3.5	3.3
10	3.8	3.6	3.3	3.7	3.1	3.2	3.1	3.1	3.3	3.6	3.6	3.4	3.5	3.2
11	3.9	3.1	3.0	3.8	3.3	3.3	3.0	2.8	2.3	3.8	3.5	3.4	3.3	3.0
12	3.9	3.4	3.1	3.7	3.3	3.4	3.3	3.0	3.1	3.2	3.5	3.3	3.4	3.3
13	3.9	3.5	3.0	3.7	3.1	3.3	3.0	2.9	3.1	3.8	3.7	3.3	3.4	3.1
14	3.9	3.1	3.1	3.6	3.3	3.6	3.4	3.2	2.9	3.7	3.6	3.3	3.3	3.3
15	3.9	3.3	3.0	3.6	3.1	3.3	3.2	3.0	2.7	3.6	3.5	3.3	3.4	3.1
16	3.9	3.0	2.8	3.6	2.9	3.3	3.1	3.1	3.3	3.6	3.5	3.3	3.2	3.2
17	3.9	2.9	2.8	3.7	3.3	3.3	3.1	3.0	2.8	3.4	3.6	3.2	3.2	3.2
18	3.9	2.9	3.0	3.4	2.9	2.7	2.7	2.6	2.6	3.1	3.4	2.9	3.2	2.8
19	3.9	3.1	2.6	3.3	2.9	2.8	2.6	2.7	2.2	3.5	3.3	2.9	3.2	2.7
20	3.8	3.3	3.0	3.4	2.8	2.6	2.5	2.4	2.8	3.5	3.5	2.8	3.3	2.7
21	3.8	3.3	3.2	3.6	2.9	2.6	2.7	2.8	2.9	3.4	3.3	2.8	3.4	2.9
22	3.8	3.3	2.4	3.6	2.3	3.0	2.7	2.7	3.1	3.7	3.8	2.7	3.1	2.9

※ 未提出の科目はない。

【10】選択教養科目(文化・社会系)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.3	3.1	3.6	3.3	3.1	3.3	3.3	3.0	3.3	3.4	3.4	3.4	3.2
2	3.8	3.2	2.9	3.4	3.0	3.3	3.1	3.2	3.5	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2
3	3.8	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4
4	3.7	3.3	3.3	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.0	3.3	3.5	3.3	3.4	3.3
5	3.9	3.0	3.0	3.6	3.3	3.2	3.1	3.1	2.7	3.6	3.6	3.3	3.3	3.1
6	3.7	3.0	3.0	3.1	3.1	2.8	2.8	2.9	2.6	2.4	3.0	3.0	3.2	2.8
7	3.8	2.8	2.5	3.5	2.7	2.7	2.4	2.5	2.4	3.5	3.6	3.0	3.0	2.7
8	3.7	3.0	2.9	3.3	2.9	2.2	2.5	2.6	2.4	3.3	2.9	2.8	3.2	2.6

※ 未提出の科目はない。

【11】選択教養科目(科学・技術系)(11科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.1	3.1	3.5	3.5	3.3	3.3	3.1	2.9	3.7	3.6	3.4	3.3	3.2
2	4.0	3.4	3.3	3.6	3.5	3.2	3.2	3.0	3.2	3.5	3.6	3.4	3.5	3.2
3	3.8	3.2	3.0	3.5	3.2	3.5	3.2	3.1	3.1	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2
4	4.0	3.2	2.5	3.4	2.8	3.0	3.1	3.1	3.1	3.7	3.7	3.2	3.2	3.0
5	3.8	3.4	3.0	3.4	2.7	3.1	2.8	2.9	3.1	3.3	3.3	3.1	3.4	3.0
6	3.9	3.1	2.9	3.6	3.2	3.3	3.2	2.9	2.6	3.3	3.4	3.1	3.3	3.1
7	3.9	3.2	3.0	3.4	3.2	3.0	2.9	3.0	2.9	2.8	3.2	3.0	3.3	3.0
8	4.0	3.4	3.0	3.3	3.0	3.4	2.8	2.8	2.0	3.8	3.9	3.0	3.4	2.8
9	3.9	3.1	2.8	3.4	2.6	2.5	2.6	2.7	2.5	3.4	3.3	2.9	3.2	2.7
10	4.0	2.0	1.0	4.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	2.3	2.5

※1 科目が未提出。

【12】選択教養科目(生命科学系)(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.5	3.4	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.1	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4
2	3.8	3.2	2.8	3.6	3.0	3.3	3.3	3.6	3.0	3.5	3.2	3.5	3.2	3.3
3	3.9	3.3	2.9	3.7	3.2	3.5	3.4	3.4	2.8	3.7	3.6	3.5	3.3	3.3
4	4.0	3.3	3.1	3.6	3.0	3.6	3.3	3.4	3.3	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3
5	3.9	3.1	3.0	3.6	3.4	3.3	3.3	3.0	2.9	3.6	3.7	3.2	3.3	3.2
6	3.8	2.9	2.7	3.3	2.8	2.7	2.6	2.6	2.8	3.2	3.2	2.8	3.1	2.8

※ 未提出の科目はない。

【13】選択教養科目(複合・学際系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	3.8	3.7	4.0	4.0	3.9	3.7	3.9	3.2	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7
2	3.9	3.4	3.2	3.8	3.5	3.7	3.5	3.3	3.2	3.7	3.6	3.4	3.5	3.5

※1 科目が未提出。

【14】選択教養科目(生涯学習系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	3.9	3.7	3.6
2	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	3.6	3.6	3.7	3.2	3.6	3.3	3.8	3.8	3.6
3	3.9	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.4	3.5	3.6	3.8	3.6	3.6
4	3.9	3.4	3.1	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	2.9	3.7	3.7	3.6	3.4	3.3
5	3.9	3.3	3.2	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	2.7	3.5	3.2	3.4	3.4	3.3

※ 未提出の科目はない。

【15】選択教養科目(外国語系)(9科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.7	3.1	3.9	3.6	3.5	3.3	3.4	3.0	3.8	3.9	3.7	3.5	3.4
2	3.9	3.5	3.2	3.7	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.9	3.8	3.7	3.5	3.6
3	3.7	3.7	3.3	3.9	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5
4	4.0	3.5	3.0	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3
5	4.0	3.6	3.2	3.7	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5	3.6	3.8	3.4	3.6	3.4
6	3.7	3.6	2.9	3.4	3.1	3.4	3.0	3.2	3.4	3.3	3.0	3.2	3.4	3.2
7	4.0	3.4	3.1	3.5	3.4	3.1	3.1	3.0	3.0	3.5	3.7	3.1	3.5	3.1
8	4.0	3.3	2.8	3.5	3.2	3.2	3.2	3.0	3.4	3.3	3.3	3.0	3.3	3.2

※1 科目が未提出。

【16】選択教養科目(日本語・日本事情)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	3.8	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8
2	4.0	3.6	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7
3	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
4	4.0	3.4	3.4	3.8	3.6	3.5	4.0	3.5	3.2	4.0	3.6	3.6	3.6	3.6

※1 科目が未提出。

Ⅱ 平成 20 年度後学期

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成20年度後学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成21年(2009年)1月8日(木)～1月23日(金)の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(197科目)。
実施方法	実務は学務部教務課と教育研究・地域連携センター(武方壮一準教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育研究・地域連携センター(同上)が集計作業を行った。
回収率	91%(197科目中、180科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、前回同様に常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては従来通りに所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出して貰った。その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育研究・地域連携センター(武方壮一準教授)が集計作業を行った。 提出率は52%(197科目中、102科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物は前学期3～5ページを参照願いたい。

第2章 学生による授業評価

【1】全科目の平均について

すべての共通教育科目(全197科目のうち回収された180科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである(小数第2位以下は四捨五入)。

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目の平均	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.7	3.5

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

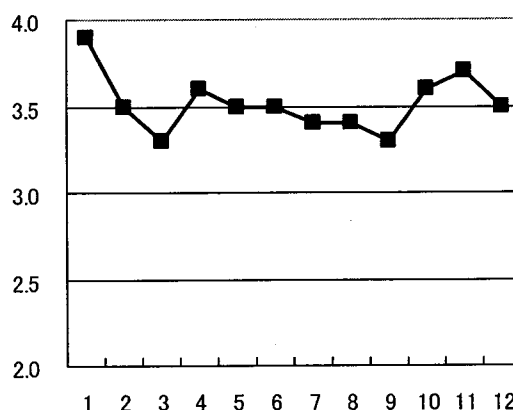


図 質問項目ごとの全科目の平均
(縦軸の評価2未満の目盛は割愛)

【1-1】全科目平均の動向

16年度からの各学期において、これまで、すべての科目を対象に学生による授業評価が実施されている。そこで、この5年間にどれほどの改善がなされたかをみるために、評価点の平均の動向を整理したものが下の図表である(注:16年度は質問3と質問10は設けていなかったのので、下表では空欄にしてあるとともに、下図ではデータなしとなっている)。

質 問 項 目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総 合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
16年度前学期	3.9	3.4		3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9		3.4	3.2
16年度後学期	3.9	3.4		3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0		3.5	3.3
17年度前学期	3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.3
17年度後学期	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.2	3.6	3.6	3.5
18年度前学期	3.9	3.5	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
18年度後学期	3.9	3.4	3.1	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.6	3.5	3.4
19年度前学期	3.9	3.4	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
19年度後学期	3.9	3.4	3.1	3.6	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.6	3.6	3.4
20年度前学期	3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.4
20年度後学期	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.7	3.5

○同学期との比較

19年度後学期と今回の結果を比較すると、学生の評価は12項目中3項目では横ばいであるが、7項目において0.1ポイントの上昇、2項目は0.2ポイントの上昇で、低下した項目はなかった(本報告書における評価点はすべて、小数第二位以下は四捨五入している)。

同学期どうして比較した場合、16年度から17年度にかけては、10項目のうち、質問1を除くすべての項目において評価が上がっ

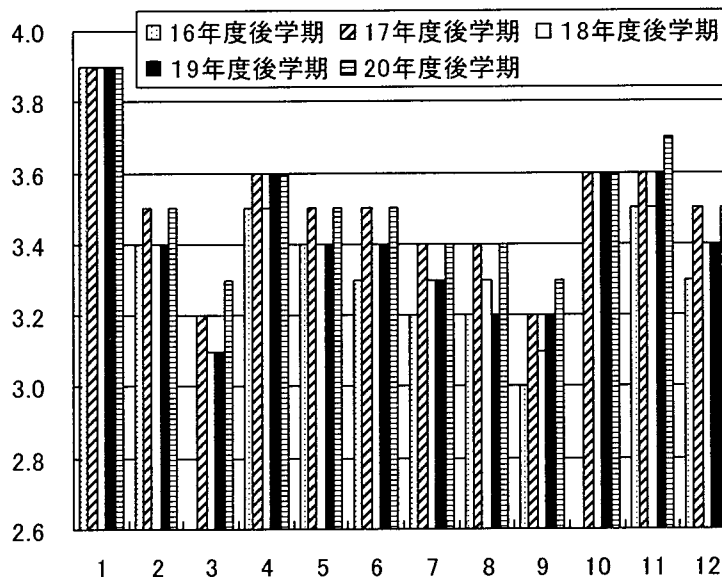


図 同学期の比較

た。次いで、17年度から18年度にかけては、12項目のうち10項目において逆に下がった。ただし、いずれも0.1ポイントのみの低下である。18年度から19年度にかけては12項目のうち7項目において横ばい、3項目において0.1ポイントの上昇、そして今回、19年度から20年度では上述したように低下した項目はなく、9項目で上昇した。

このことは、全体平均でみた場合、教育の改善(特に教え方)に関して、教員の努力が実ってきている現れとみることができよう。但し、質問5～8の4項目(「教員の教え方」のうち、授業内容や話し方に直接関わる項目)や、「総合満足度」における3.4～3.5という評点については、「これで妥当(上位安定)」とみるべきか、あるいは「まだ不十分(改善の余地あり)」とみるべきか、評価が分かれるところであろう。

○5年間における動向

法人化した年度である16年度後学期と今回(20年度後学期)の結果を比較すると、下がった項目はなく、10項目中の学生の出席率とクラスサイズを除く8項目において、0.1～0.3ポイント上がっている。このことは、5年という期間でみれば、共通教育に対する学生の評価が確実に上がってきていることを示している。

17年度後学期以降19年度まで、ドラスティックな変化(伸び)がなく、殆どが0.1～0.2ポイント以内の変化にとどまっていたが、今回上昇が見られたことは、FD活動の成果であり、教員が講義内容の改善に真摯に取り組んできたことの表れと評価できる。

質問3の評点と質問9の評点は3.3で、どちらも過去最高となった。ただし、質問項目のなかでは依然として低い部類であることから、引き続き自学自習を促進し学習意欲を引き出すための指導に関して、科目ごとの必要性の有無や具体的方法と併せて検討すべきであろう。また、質問11の評点も過去最高の3.7となった。視聴覚機材などの整備を進めてきたことを反映していると考えられるが、まだ不十分であり、さらなる学習環境の充実が必要と考えられる。

法人化直後(16年度後学期)と比べると、学生の評価は0.1～0.3ポイント上昇している。

教員の教え方に関する項目は3.3～3.5、「総合満足度」は3.5で、いずれも前年度より0.1～0.2ポイント上昇した。

学生の達成目標への到達と教員の予習復習発展学習に関する項目に関する評点は過去最高となったが、どちらも最も低い3.3の評点である。

以上の点を踏まえ、今後引き続き検討を進めていく必要がある。

【2】科目群ごとの分析

【2-1】科目群ごとの平均、および全体との比較

共通教育科目を15の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。かっこ内の科目数は開講科目数ではなく、授業評価が提出された科目数である。また、「初修外国語」は通年の評価である。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、他方、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している(±0.1ポイント以内は、そのままにしてある)。

科目群ごとに全科目平均と比較すると下表の通りであるが、ここで挙げる特徴(傾向)が、「人間と文化」と「生命科学系」を除いて、前年同学期の結果と類似していることは注目される(19年度後学期の報告書を改めて参照されたい)。

なお、右から4列目の「平均」は、「教員の教え方など(質問4～9)」の平均値である。

質問項目		学生自身			教員の教え方など							学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均	10	11	12
全科目平均		3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.6	3.7	3.5
大学 教育 基礎 科目	(1)英語(28 科目)	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5	3.7	3.7	3.6
	(2)コミュニケーション英語(27 科目)	3.9	3.6	3.2	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.7
	(3)初修外国語(31 科目)	3.8	3.4	3.1	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.4	3.3	3.6	3.6	3.4
	(4)保健体育科目(25 科目)	3.9	3.8	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.6	3.6	3.6	3.7
主題 教養 科目	(5)現代の社会と倫理(9 科目)	3.9	3.4	3.3	3.6	3.3	3.4	3.2	3.2	3.0	3.2	3.4	3.6	3.3
	(6)人間と文化(9 科目)	3.9	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2	3.5	3.6	3.3
	(7)現代社会の課題(8 科目)	3.8	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.0	3.3	3.5	3.6	3.4
	(8)自然と生命(10 科目)	3.8	3.4	3.1	3.5	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.5	3.5	3.2
選択 教養 科目	(9)文化・社会系(8 科目)	3.9	3.5	3.2	3.7	3.5	3.4	3.5	3.5	3.3	3.4	3.5	3.6	3.6
	(10)科学・技術系(4 科目)	3.8	3.4	3.2	3.8	3.5	3.6	3.4	3.3	3.2	3.4	3.6	3.6	3.5
	(11)生命科学系(2 科目)	3.8	3.4	3.3	3.7	3.5	3.6	3.7	3.7	3.0	3.5	3.7	3.6	3.7
	(12)複合・学際系(3 科目)	3.9	3.6	3.2	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6
	(13)生涯学習系(5 科目)	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.3	3.6	3.7	3.7	3.8
	(14)外国語系(6 科目)	3.9	3.7	3.3	3.8	3.6	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.9	3.8
(15)日本語・日本事情(5 科目)		4.0	3.8	3.6	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.7	3.9	4.0	3.9	3.8

1)大学教育基礎科目

- ・「英語」は、平均でみれば、全科目平均とほぼ同程度の評価である。「コミュニケーション英語」では、質問7、質問9(自学自習)、質問10および総合評価で全科目平均より0.2ポイント高い。
- ・「初修外国語」は、全科目平均とほぼ同程度の評価であるが、質問3及び8は全科目平均より0.2ポイント低い。
- ・「保健体育科目」は、ほぼ全体を通して、全科目平均より高い評価を受けている。

2)主題教養科目

- ・「現代の社会と倫理」、「人間と文化」、「自然と生命」は、質問5～10や質問12を中心に、全科目平均より0.2ポイント以上低くなっている。
- ・「現代社会の課題」は、質問9において全科目平均より0.2ポイント低いものの、その他は全科目平均とほぼ同程度の評価である。

3)選択教養科目、日本語科目

- ・「文化・社会系」は全科目平均とほぼ同程度の評価である。「科学・技術系」は1項目において全科目平均より0.2ポイント高いが、その他の項目は、全科目平均とほぼ同程度の評価である。
- ・「生命科学系」は質問7、質問8および総合評価で0.2ポイント高いが、質問9で0.2ポイント低い。「複合・学際系」は9項目で科目平均より0.1ポイント高い。「生涯学習系」では10項目で、「外国語系」では11項目で平均より0.1～0.3ポイント高い評価を受けており、どちらも質問12(総合満足度)では、全科目平均より0.3ポイント高い。ただし、これらは含まれる科目数(サンプル数)が2～6科目と少ないことには留意する必要がある。
- ・「日本語・日本事情」は、受講生が1～5名という限定されたなかでの、かつ留学生における評価であるが、質問1を除く全ての項目で高い評価を受けている。

平均でみれば、「保健体育科目」、「生命科学系」、「複合・学際系」、「生涯学習系」、「外国語系」は、全体より高い評価の項目が多く、他方、「現代の社会と倫理」、「人間と文化」、「自然と生命」は低い評価の項目が多くなっている。

上記以外の科目は、全科目平均と概ね同程度の評価である。

そして、以上の特徴が、今回もまた前年同学期と概ね類似していることは注目される。

【2-2】前年同学期との比較

次に、科目群ごとに前年(平成19年度)前学期と比較する。下表において、評価が0.2ポイント以上、上がった項目には★を、0.1ポイント上がった項目には☆を付けている。他方、評価が0.2ポイント以上、下がった項目には▼を、0.1ポイント下がった項目には▽を付けている。

なお、同学期どうしであっても、各群ともに担当教員、開講科目やその数に変化があるため、必ずしも厳密な比較になり得ないことは申し添えておきたい。

また、受講生が1～5名と少ない「日本語・日本事情」は割愛する。

①大学教育基礎科目

			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
質問項目			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大学 教育 基礎 科目	(1)英語	19後	3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.7	3.6	3.3
		20後		☆	★	☆	★	★	★	★	☆		☆	★
	(2)コミュニケーション英語	19後	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6
		20後		☆	☆	☆		☆	★	☆	☆	☆	☆	★
	(3)初修外国語	19後	3.9	3.5	3.1	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.7	3.5
		20後		☆	☆	☆		☆	★	☆	☆	☆	☆	★
	(4)保健体育科目	19後	3.9	3.6	3.2	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.8	3.8	3.7
		20後		☆	☆	☆		☆	★	☆	☆	☆	☆	★

「英語」および「コミュニケーション英語」では10項目において評価が上がっていることが注目される。「初修外国語」では8項目、「保健体育科目」で5項目において上昇している。

総合評価ではすべての科目で上昇し、特に英語で0.3、コミュニケーション英語で0.2と高い上昇である。

大学教育基礎科目では、全科目とも評価が上昇している。

②主題教養科目

			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
質問項目			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主題 教養 科目	(5)現代の社会と倫理	19後	3.9	3.3	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9	3.4	3.5	3.2
		20後		☆	★	☆	☆	★	☆	☆	☆		☆	☆
	(6)人間と文化	19後	3.9	3.4	3.3	3.6	3.3	3.4	3.2	3.2	3.0	3.4	3.6	3.3
		20後												
	(7)現代社会の課題	19後	3.8	3.3	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	3.2	2.9	3.4	3.5	3.3
		20後	☆	☆	☆	☆	★	☆	☆		☆	☆	☆	
	(8)自然と生命	19後	3.9	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5	3.6	3.3
		20後												
	(9)現代社会の課題	19後	3.8	3.3	3.1	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	2.8	3.5	3.6	3.3
		20後		★	☆	☆		☆	☆	☆	★			☆
	(10)自然と生命	19後	3.8	3.5	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.6	3.4
		20後	3.8	3.4	3.2	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.6	3.4

「現代の社会と倫理」および「人間と文化」では10項目、「現代社会の課題」では8項目、「自然と生命」では9項目において評価が上がっていることが注目される。特に「自然と生命」では5項目において2ポイントの上昇である。

平成19年度に8項目で評価の下がった「人間と文化」は、今年度は10項目で評価が上がったが、総合評価は前年と同じ3.3である。

主題教養科目の評価は、全体に前年より上がっている。

③選択教養科目・専門基礎科目

			学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
質問項目			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
選択教養基礎科目	(9) 文化・社会系	19後	3.6	3.4	3.1	3.3	3.5	3.3	3.4	3.4	3.1	3.4	3.5	3.6
		20後	★ 3.9	☆ 3.5	☆ 3.2	★ 3.7	 3.5	☆ 3.4	☆ 3.5	☆ 3.5	★ 3.3	☆ 3.5	☆ 3.6	 3.6
	(10) 科学・技術系	19後	3.8	3.4	3.2	3.7	3.3	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.6	3.4
		20後	 3.8	 3.4	 3.2	☆ 3.8	★ 3.5	★ 3.6	☆ 3.4	 3.3	★ 3.2	☆ 3.6	 3.6	☆ 3.5
	(11) 生命科学系	19後	3.9	3.5	3.4	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.1	3.7	3.5	3.7
		20後	▽ 3.8	▽ 3.4	▽ 3.3	 3.7	 3.5	▽ 3.6	☆ 3.7	☆ 3.7	▽ 3.0	 3.7	☆ 3.6	 3.7
	(12) 複合・学際系	19後	3.9	3.5	3.3	3.8	3.6	3.7	3.7	3.5	3.1	3.3	3.7	3.6
		20後	 3.9	☆ 3.6	▽ 3.2	▽ 3.7	 3.6	▽ 3.6	▼ 3.5	 3.5	★ 3.3	★ 3.7	 3.7	 3.6
	(13) 生涯学習系	19後	3.9	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.5	3.6	3.7
		20後	 3.9	☆ 3.7	 3.6	 3.7	☆ 3.7	☆ 3.7	☆ 3.7	☆ 3.7	★ 3.3	★ 3.7	☆ 3.7	☆ 3.8
	(14) 外国語系	19後	4.0	3.7	3.2	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8
		20後	▽ 3.9	 3.7	☆ 3.3	 3.8	▽ 3.6	▽ 3.7	 3.6	 3.7	 3.6	▽ 3.7	☆ 3.9	 3.8

選択教養科目においては、科目群により変化に違いがみられる。

評価の上がった項目が多いのは、「文化・社会系」、「科学技術系」、「生涯学習系」である。「文化・社会系」では10項目、「科学技術系」では7項目、「生涯学習系」では9項目の評価が上がっていることが注目される。

「生命科学系」では、質問7、質問8および質問11において評価が上がっている一方で、5項目において逆に下がっている。「複合・学際系」、「外国語系」も同様に上昇した項目と低下した項目とがある。

前述したように全科目平均より概ね高い評価であるが、総合評価で上昇したのは「科学技術系」と「生涯学習系」の2科目群である。

選択教養科目においては、科目群により違いがみられるが、「教員の教え方」を中心に、概ね評価は上がっている。

【2-3】科目単位でみた分布

平均でみた科目群ごとの特徴は以上の通りであるが、当然ながら、同一科目群の中でも科目により評価に違いがある。では、科目別にみた場合、評価点はどのような分布をしているのか。過去6回の報告と同様に、今回も科目単位での分布をみていくことにする。

下の表は、学生の「総合満足度」を示す質問12と各項目との相関係数(単相関)を計算したものである。「教員の教え方」に関する項目のうちの質問4～8との相関が高く、これは最近6期(17年度後学期, 18年度前学期及び後学期, 19年度前学期及び後学期, 20年度前学期)における結果と同様となった。特に、授業の内容や教員の話し方、説明の仕方に直結する質問5～8との相関はほぼ0.9である。

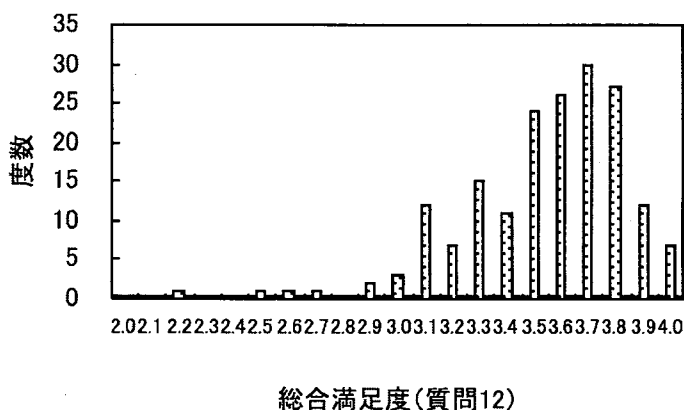
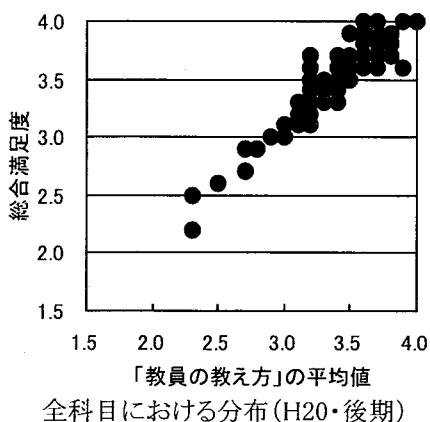
従って、「わかりやすさ」や「意欲・好奇心を掻き立てる教え方」を行うことが学生の「総合満足度」の向上につながるが、今回の結果からも改めて確認される。このことは重要である。

また、質問2(学生の受講態度)や質問3(学生の到達度)との相関も各々0.75, 0.70と、比較的高い。さらに、表示していないが、質問2及び3と質問5～8の相関をみると、0.65から0.74の値を示している。このことから、教員の教え方の良し悪しが学生の受講態度や学生自身の到達度(理解度)にも大きく影響し、ひいては学生の満足度にもつながっていることが示唆される。

「総合満足度」(質問12)と各項目との相関係数(平成20年度後学期)

学生自身			教員の教え方など					
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0.353	0.751	0.703	0.750	0.881	0.895	0.908	0.930	0.655
学習環境			複数項目の平均					
10	11	1-3 平均	4-9 平均	10-11 平均	全項目平均			
0.476	0.629	0.772	0.931	0.569	0.937			

そこで、これまでの報告書と同様に、「総合満足度」(質問12)と「教員の教え方」の平均値(質問4～9の平均値)に着目して両者の関連をみることにする。下左図は、全科目について、横軸に「教員の教え方」の平均値を、縦軸に「総合満足度」をとり、各科目の値をプロットしたものである。両者の相関係数0.93を裏付ける結果が確認される。また右下図は、「総合満足度」の度数分布である。



また、図1～14は、科目群ごとに、横軸に「教員の教え方」の平均値を、縦軸に「総合満足度」をとり、各科目の値をプロットしたものである。左欄の図が20年度後学期、右欄の図が19年度後学期である(ただし、①両指標ともに同じ値である科目も存在し、これらは図示する際に点[マーカー]が重なるため科目数とマーカーの数は必ずしも一致していないこと、②図8の目盛の下限値が他図と異なり1.5であることに留意。なお、「日本語・日本事情」の図は割愛)。

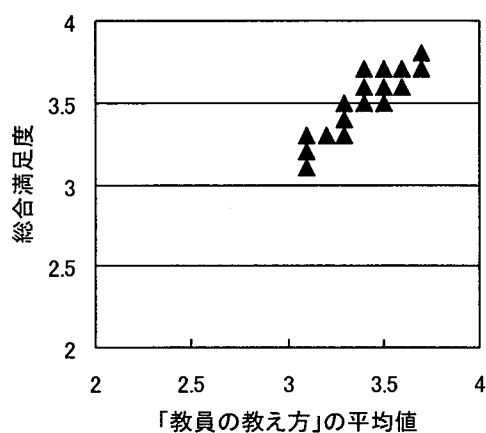


図 1-a 英語 (H20 後期)

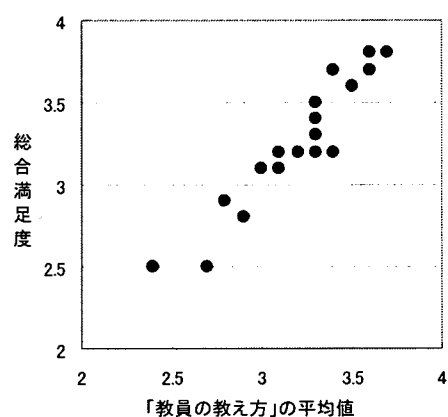


図 1-b 英語 (H19 後期)

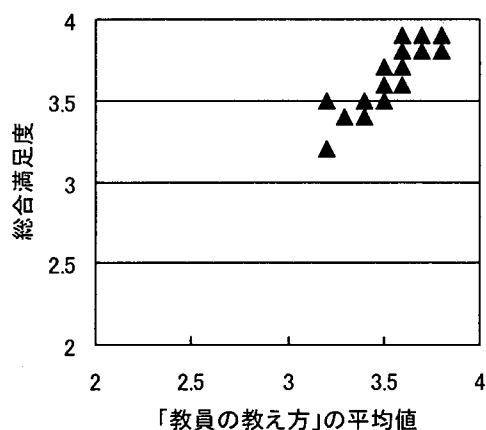


図 2-a コミュニケーション英語 (H20 後期)

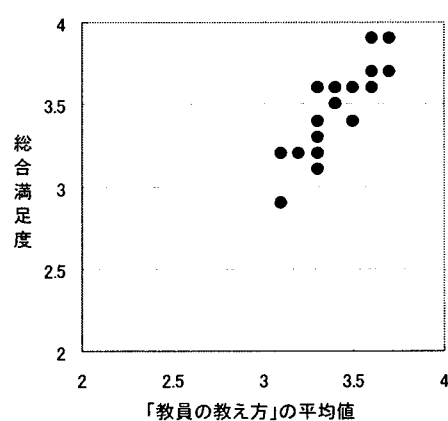


図 2-b コミュニケーション英語 (H19 後期)

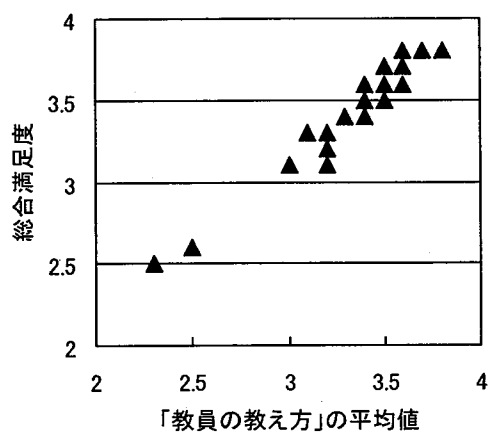


図 3-a 初修外国語 (H20 後期)

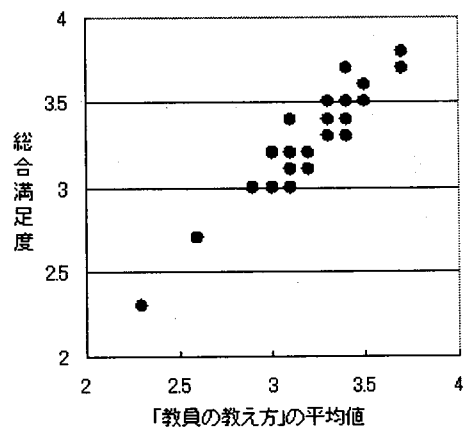


図 3-b 初修外国語 (H19 後期)

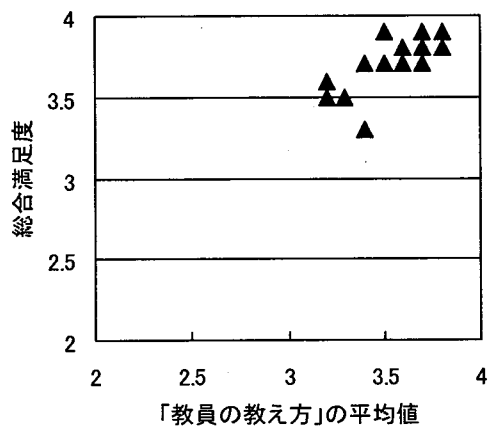


図 4-a 保健体育科目 (H20 後期)

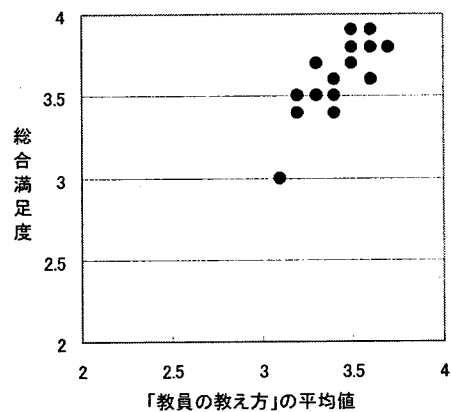


図 4-b 保健体育科目 (H19 後期)

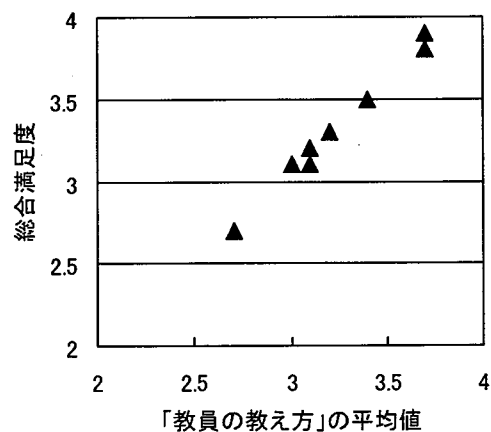


図 5-a 現代の社会と倫理 (H20 後期)

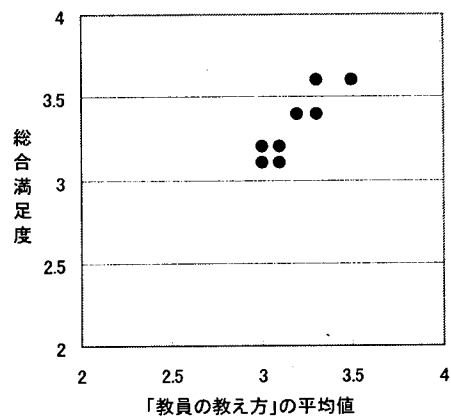


図 5-b 現代の社会と倫理 (H19 後期)

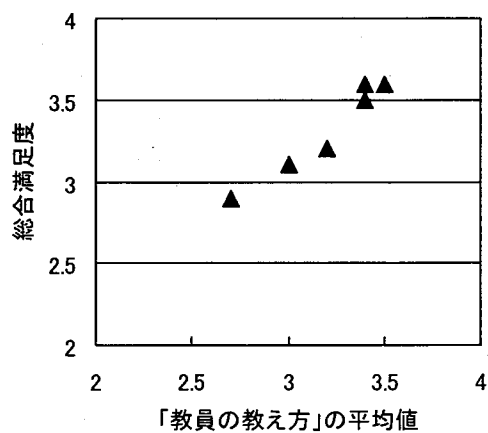


図 6-a 人間と文化 (H20 後期)

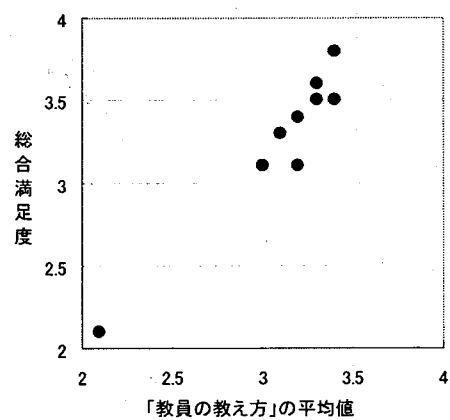


図 6-b 人間と文化 (H19 後期)

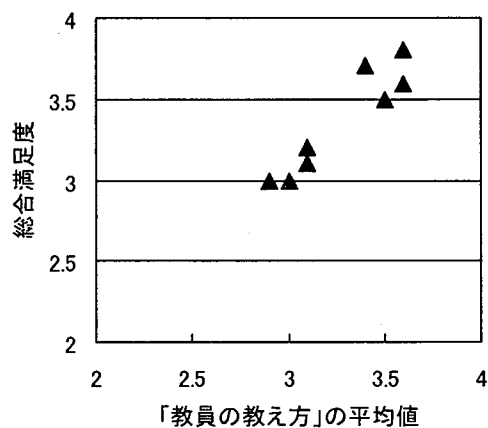


図 7-a 現代社会の課題 (H20 後期)

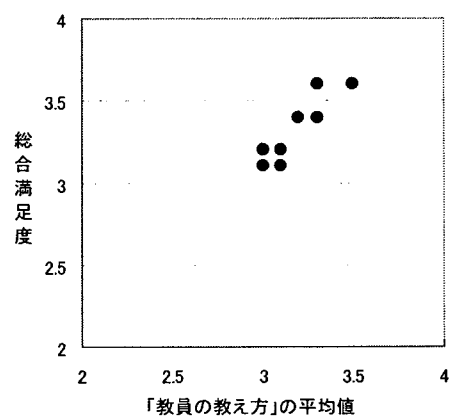


図 7-b 現代社会の課題 (H19 後期)

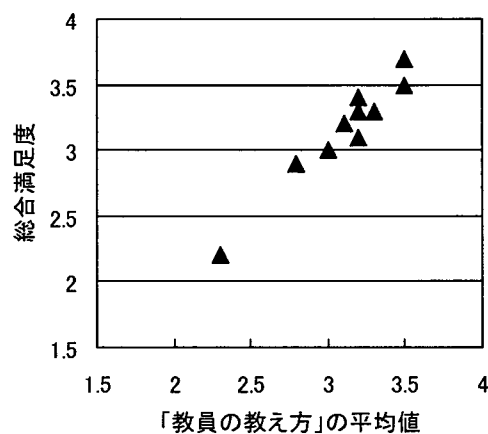


図 8-a 自然と生命 (H20 後期)

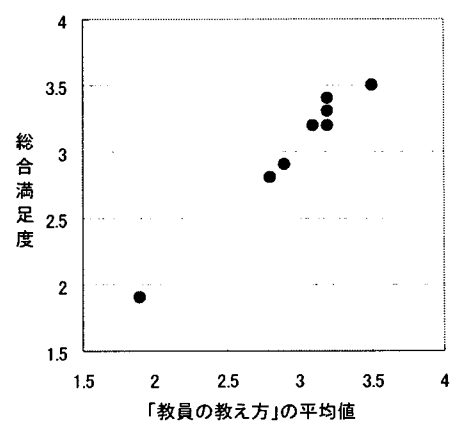


図 8-b 自然と生命 (H19 後期)

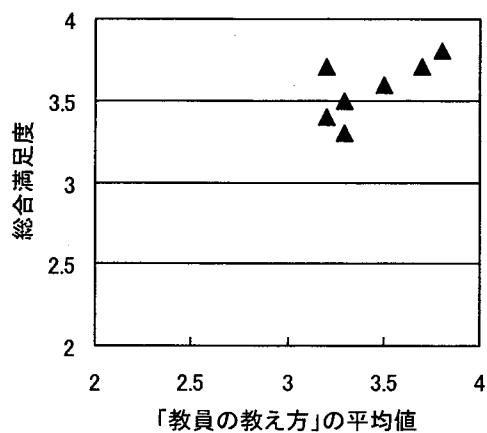


図 9-a 文化・社会系 (H20 後期)

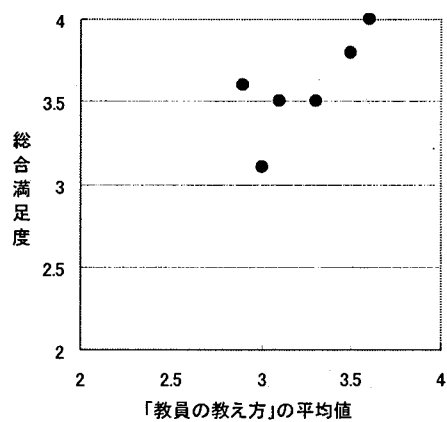


図 9-b 文化・社会系 (H19 後期)

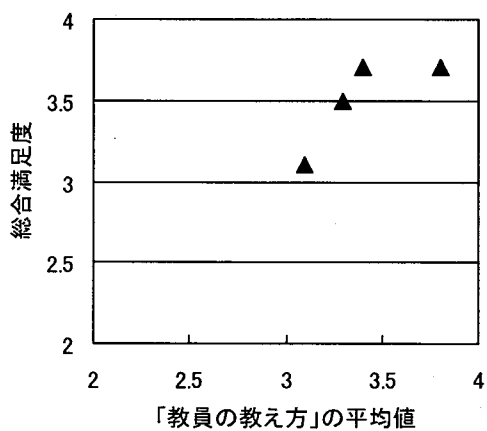


図 10-a 科学・技術系 (H20 後期)

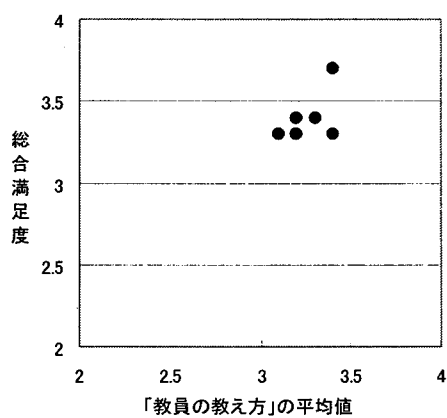


図 10-b 科学・技術系 (H19 後期)

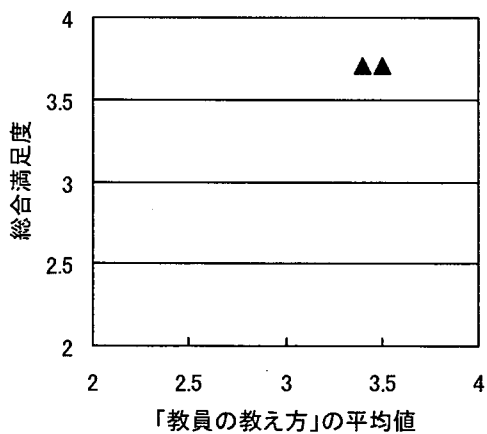


図 11-a 生命科学系 (H20 後期)

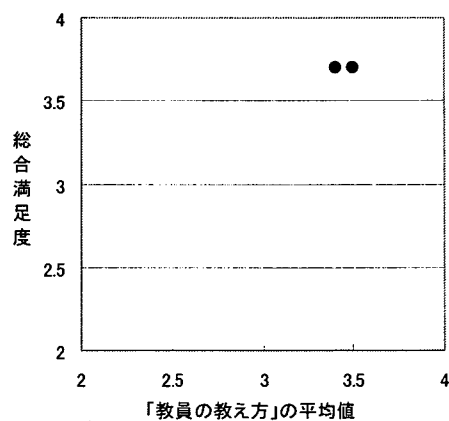


図 11-b 生命科学系 (H19 後期)

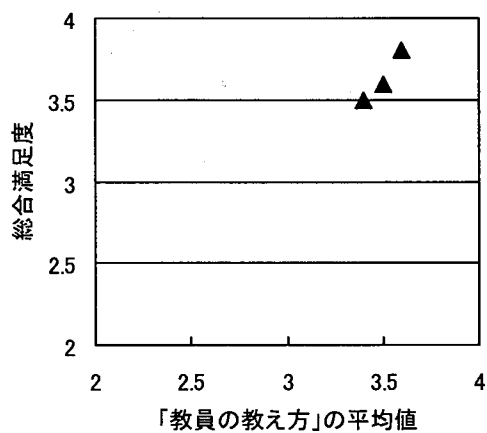


図 12-a 複合・学際系 (H20 後期)

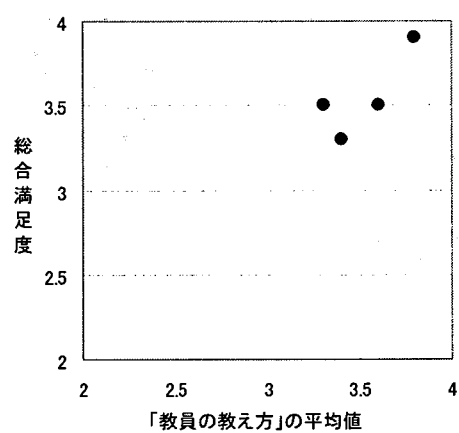


図 12-b 複合・学際系 (H19 後期)

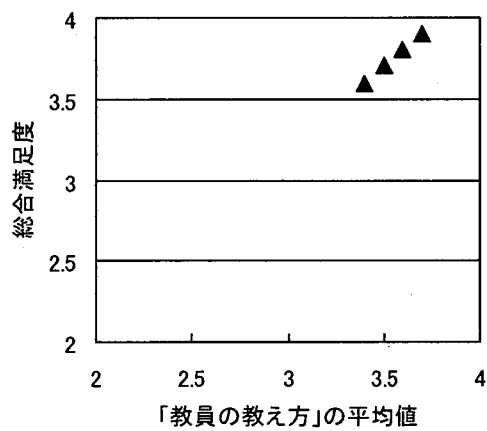


図 13-a 生涯学習系 (H20 後期)

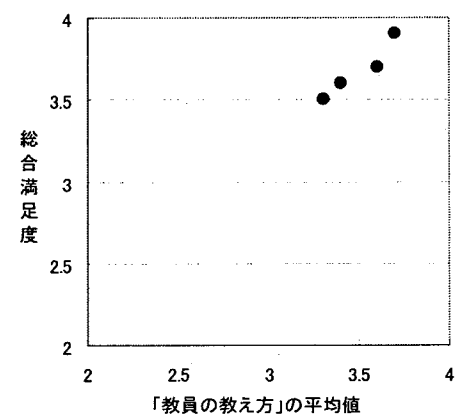


図 13-b 生涯学習系 (H19 後期)

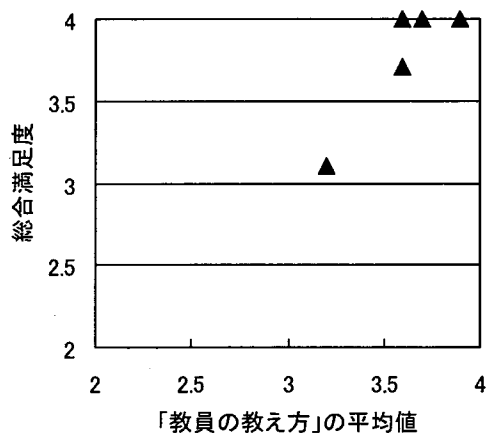


図 14-a 外国語系 (H20 後期)

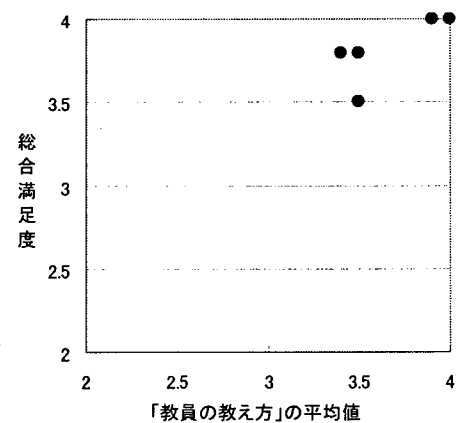


図 14-b 外国語系 (H19 後期)

科目群により含まれる科目数が異なるため、科目群ごとの厳密な比較はできないが、それでも以下の特徴は指摘できよう。後掲の教員の教え方と総合満足度に関する度数分布図(図 16 と図 17)と表(表1と表2)を併せて参照されたい。また、図 18 と図 19 には総合満足度の 18～20 年度後学期における分布の推移を示している。

①20 年度後学期における分布

- ・ 科目による「ばらつき」の有無をどのようにとらえるか、判断が分かれるところであろうが、すべての科目群において、両指標または「総合満足度」が 3.0 をクリアしている科目がほぼ9割を占める(厳密に言えば、「自然と生命」では 80%(10 科目中8科目)で該当しない)。従って、この「3.0 をクリア」という視点からみれば、科目間の「ばらつき」が小さくなってきていることがうかがえる。
- ・ また、「総合満足度」の全科目平均である 3.5 を基準に置くならば、半数を越える科目が 3.5 をクリアしている科目群は「英語」、「コミュニケーション英語」、「保健体育科目」、「人間と文化」、「文化・社会系」、「科学技術系」、「生命科学系」、「複合・学際系」、「生涯学習系」、「外国語系」である(ただし、後掲5者は含まれる科目数が少ないことには留意)。
- ・ 他方、「現代の社会と倫理」、「自然と生命」においては、「総合満足度」が 3.5 に満たない科目が半数を超える。これら科目群において、全科目平均と比べて評点の低い項目が多いのは、当然ながらこうした科目の存在が影響しているものといえよう。

②過去 2 年間(18 年度および 19 年度)との比較

- ・ 最近の6期において、殆どの科目群において前年同学期と似通った分布傾向を示していることを指摘したところであるが、今回の分析においてもやはり概ね同様となった。すなわち、科目による評価の偏り具合や、評価の高い科目とやや低い科目の存在状況といった科目群ごとの特徴は、年度が異なっても同様であること。このことが、ここ3年間にわたって検証されたことを、まず記しておきたい。
- ・ そのなかにあつて、「英語」、「コミュニケーション英語」、「文化・社会系」は、分布が全体的に右上方または上方に移動している。これら科目群では、評点の低い科目が減少(または解消)しており、このことが前年と比べた、評点の平均値の上昇に結びついている。
- ・ 他方、「初修外国語」は、分布の状況が前年(及び前々年)と極めて類似し、評点が2点台から3点前後の科目が複数存在しており、このことは真摯に受け止めるべきであろう。
- ・ 改めて述べると、4年間を通してみれば、授業評価の始まった 16 年度から比べれば学生の評価は確かに上がってきており、教え方における教員自身の改善・工夫によるところが大きいと考えられる。これは素直に評価すべきである。
- ・ ただし、前回の報告書においても述べたことであるが、今回並びに最近の結果からいえることは、科目別にみた分布は、年度や学生が変わっても概ね類似した傾向にあること、すなわち、高い評価の得られている科目が増加する一方で、評価のやや低い科目がやはり依然として存在していることである。

- ・ クリアすべき評価点の目安を「あてはまる」の評点である3.0に置くならば、学生の「総合満足度」がこの基準に満たない科目は、16年度後学期は全166科目中28科目存在したのに対し、17年度後学期は全187科目中15科目におよそ半減した。その後、18年度後学期は全183科目中16科目、19年度後学期は全177科目中13科目でほぼ横ばいであったが、20年度後学期は6科目で前年より7科目減少し、16年度からは12科目の減少となった。（次頁の図を参照）。
- ・ 「教員の教え方」のうち、授業の内容や教員の話し方、説明の仕方に直結する質問5～8や「総合満足度」（質問12）は、全体平均でみれば今回は3.4～3.5の評点で、前回の3.2～3.4よりも上昇している。
- ・ これまでの報告書でも引き続き述べたことではあるが、以上の結果については、「これで妥当」とみるべきか、あるいは「まだ不十分」とみるべきか、様々な受け止め方があるだろう。また、授業の内容・性質の違い、年度における担当教員の違いや回収された科目数の違い、受講する学生の違いやその時々の主観等があるため、評価の高低に一喜一憂すべきではない。当然ながら、「学生の評価」イコール「授業の評価」というわけでも決してない。
- ・ ただし、今回並びにこれまでの分析結果は、客観的かつ貴重なデータである。学生に対する教育の充実が、教員自身の日々の教育研究活動にも一層の充実と発展をもたらすものと前向きに受け止め、本報告書の結果を引き続き有効活用して頂ければ幸甚である。

【学生による授業評価結果のまとめ】

- 5年間における動向をみると、共通教育へのFD活動は成果を挙げつつあるといえる。
- 評価は、過去2年間横ばいであったが、20年度は上昇している。しかしながら、ばらつきは少なくなっているが、科目による評価の差は依然として存在している。
- こうした点を改めて検証するとともに、教員各自が結果を前向きに受け止め、引き続き、より一層の教育改善に向けて取り組みを進めていくことが望まれる。

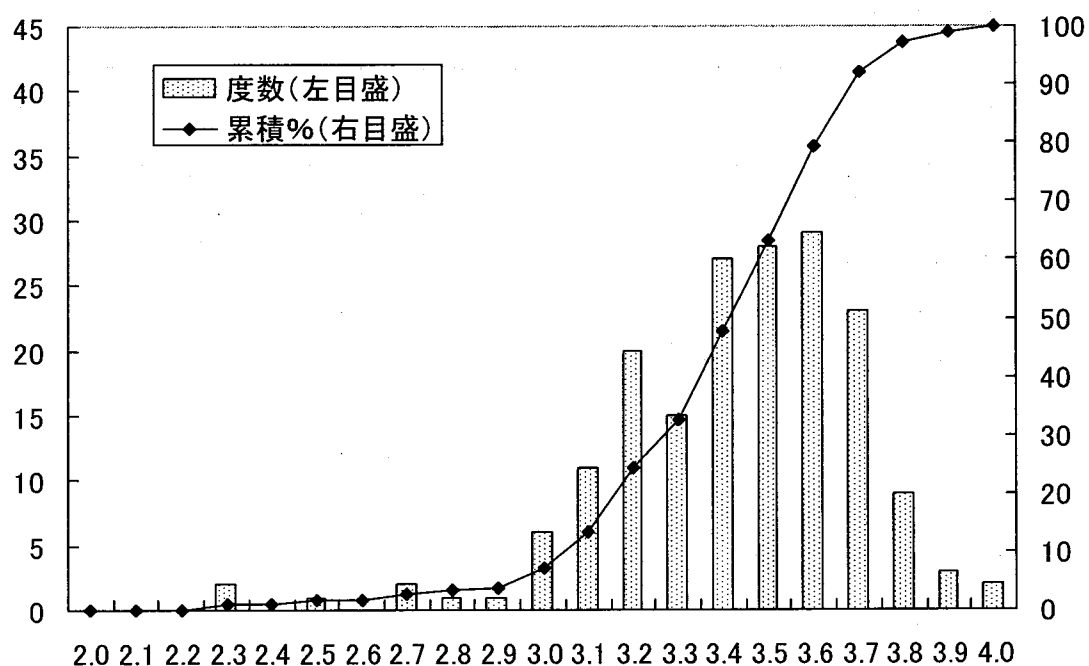


図 「教員の教え方」の平均の度数分布と累積%（全科目）

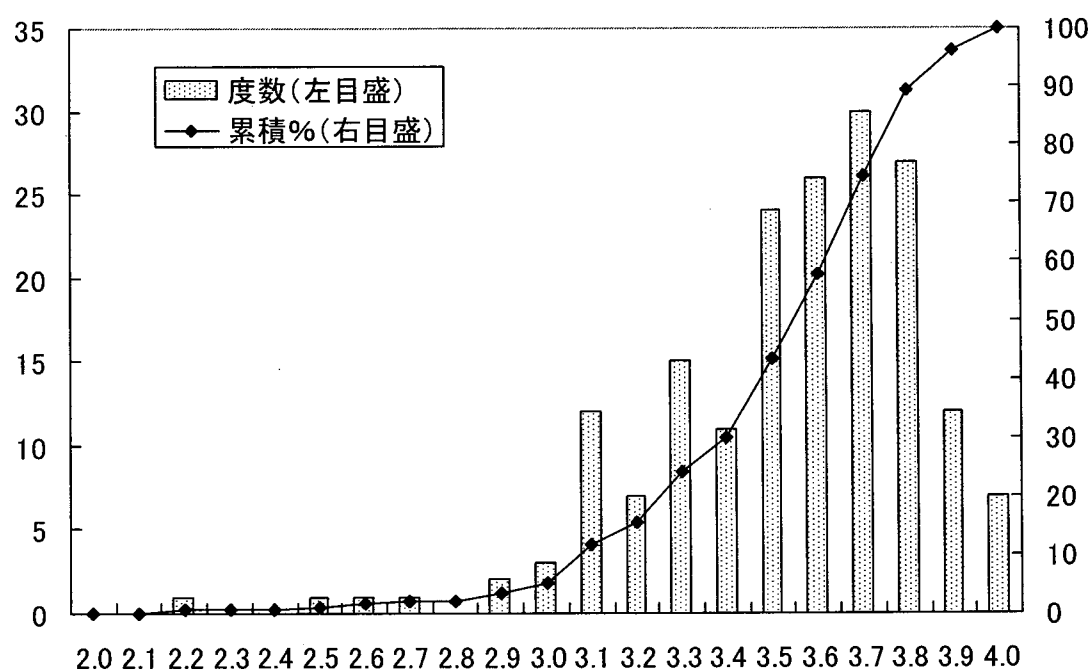


図 「総合満足度」の度数分布と累積%（全科目）

【教員の教え方】(質問4～9)の平均値の度数分布(該当科目数と割合・平成20年度後学期)

(上段:科目数 下段:割合)

教員の教え方①の平均値	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	計
全体	0	0	0	2	0	1	0	2	1	1	6	11	20	15	27	28	29	23	9	3	2	180
	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	0.0	1.1	0.6	0.6	3.3	6.1	11.1	8.3	15.0	15.6	16.1	12.8	5.0	1.7	1.1	100.0
(1)英語												3	1	4	5	6	4	5				28
												10.7	3.6	14.3	17.9	21.4	14.3	17.9				100.0
(2)コミュニケーション英語													2	1	3	7	9	3	2			27
													7.4	3.7	11.1	25.9	33.3	11.1	7.4			100.0
(3)必修外国語				1		1					1	2	6	4	6	4	4	1	1			31
				3.2		3.2					3.2	6.5	19.4	12.9	19.4	12.9	12.9	3.2	3.2			100.0
(4)保健体育科目													2	2	3	2	6	6	4			25
													8.0	8.0	12.0	8.0	24.0	24.0	16.0			100.0
(5)現代の社会と倫理								1			1	2	2		1			2				9
								11.1			11.1	22.2	22.2		11.1			22.2				100.0
(6)人間と文化								1			2		1		4	1						9
								11.1			22.2		11.1		44.4	11.1						100.0
(7)現代社会の課題									1	1	2				1	1	2					8
									12.5	12.5	25.0				12.5	12.5	25.0					100.0
(8)自然と生命				1				1		1	1	3	1			2						10
				10.0				10.0		10.0	10.0	30.0	10.0			20.0						100.0
(9)文化・社会系													2	2		2		1	1			8
													25.0	25.0		25.0		12.5	12.5			100.0
(10)科学・技術系												1		1	1				1			4
												25.0		25.0	25.0				25.0			100.0
(11)生命科学系															1	1						2
															50.0	50.0						100.0
(12)複合・学際系															1	1	1					3
															33.3	33.3	33.3					100.0
(13)生涯学習系															1	1	1	2				5
															20.0	20.0	20.0	40.0				100.0
(14)外国語系													1				2	2		1		6
													16.7				33.3	33.3		16.7		100.0
(15)日本語・日本事情																		1		2	2	5
																		20.0		40.0	40.0	100.0

「総合満足度」(質問12)の度数分布(該当科目数と割合・平成20年度後学期)

(上段:科目数, 下段:割合)

「総合満足度」の得点	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	計
全体	0	0	1	0	0	1	1	1	0	2	3	12	7	15	11	24	26	30	27	12	7	180
	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	1.1	1.7	6.7	3.9	8.3	6.1	13.3	14.4	16.7	15.0	6.7	3.9	100.0
(1)英語												1	1	4	1	4	8	5	4			28
												3.6	3.6	14.3	3.6	14.3	28.6	17.9	14.3			100.0
(2)コミュニケーション英語													1		3	3	4	6	7	3		27
													3.7		11.1	11.1	14.8	22.2	25.9	11.1		100.0
(3)初修外国語						1	1					3	1	5	5	6	3	3	3			31
						3.2	3.2					9.7	3.2	16.1	16.1	19.4	9.7	9.7	9.7			100.0
(4)保健体育科目														1		3	1	6	8	6		25
														4.0		12.0	4.0	24.0	32.0	24.0		100.0
(5)現代の社会と倫理								1				2	1	2		1			1	1		9
								11.1				22.2	11.1	22.2		11.1			11.1	11.1		100.0
(6)人間と文化										1		2	1			2	3					9
										11.1		22.2	11.1			22.2	33.3					100.0
(7)現代社会の課題											2	1	1			1	1	1	1			8
											25.0	12.5	12.5			12.5	12.5	12.5	12.5			100.0
(8)自然と生命			1							1	1	1	1	2	1	1		1				10
			10.0							10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0		10.0				100.0
(9)文化・社会系														1	1	1	2	2	1			8
														12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5			100.0
(10)科学・技術系												1				1		2				4
												25.0				25.0		50.0				100.0
(11)生命科学系																		2				2
																		100.0				100.0
(12)複合・学際系																1	1		1			3
																33.3	33.3		33.3			100.0
(13)生涯学習系																	1	1	1	2		5
																	20.0	20.0	20.0	40.0		100.0
(14)外国語系												1						1			4	6
												16.7						16.7			66.7	100.0
(15)日本語・日本事情																	2			3		5
																	40.0				60.0	100.0

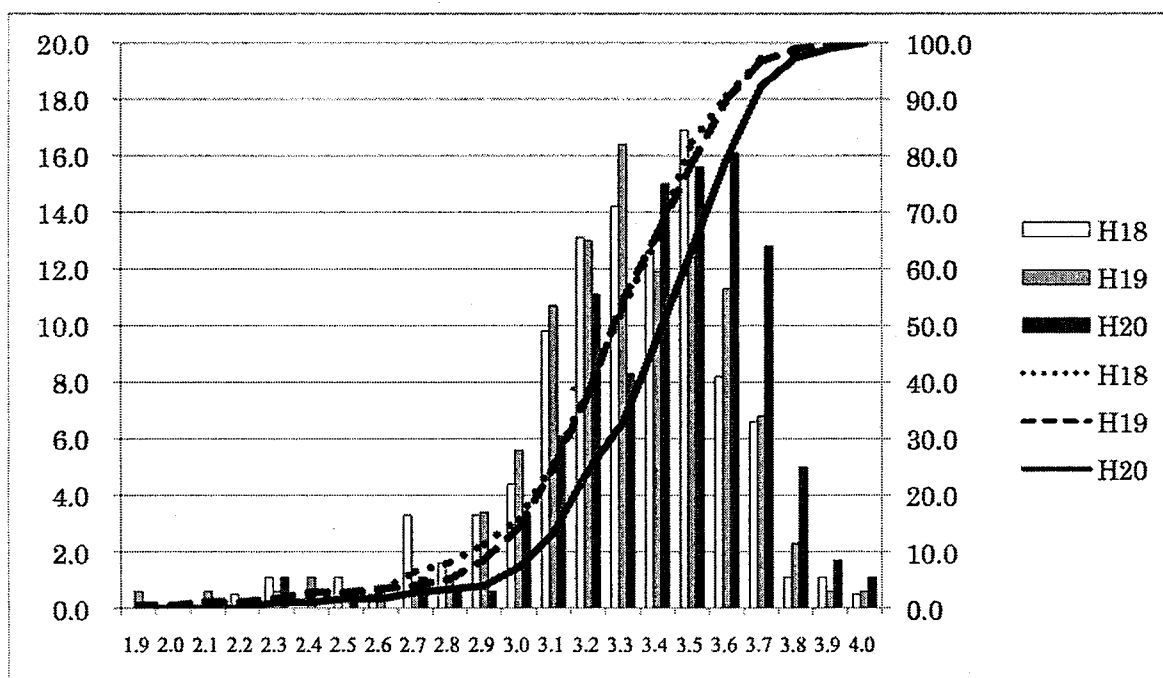


図 「教員の教え方」の平均の度数分布と累積％（全科目）－ 3年間の推移

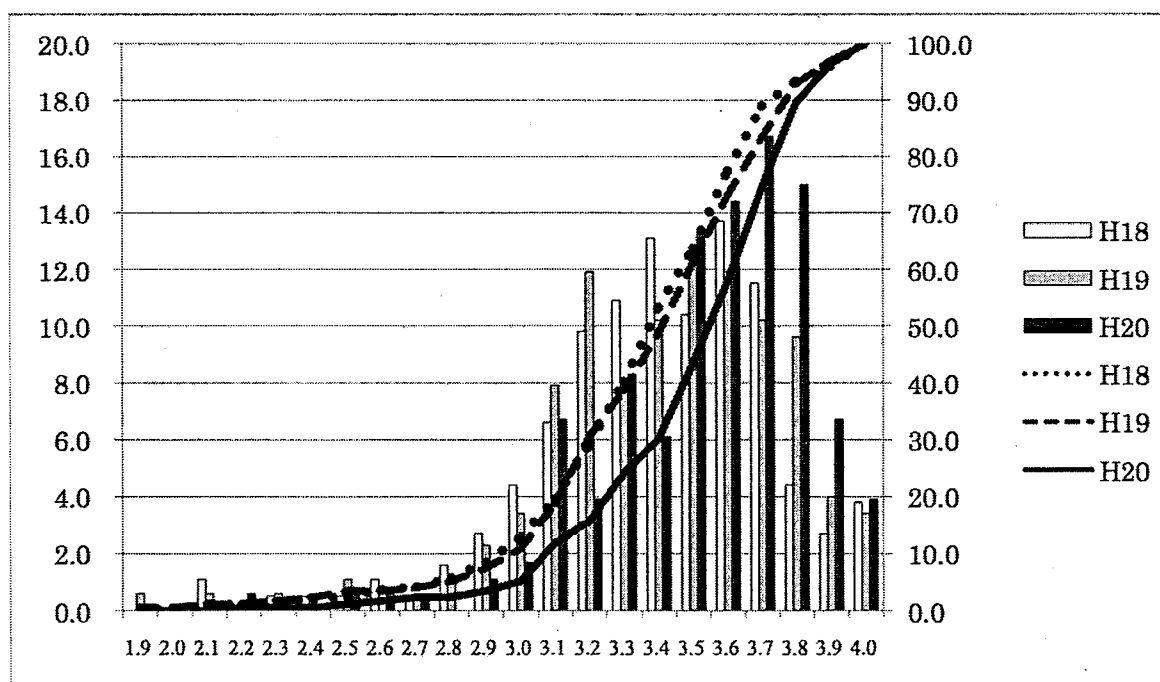


図 「総合満足度」の度数分布と累積％（全科目）－ 3年間の推移

第3章 教員によるFD活動レポート

【1】学生による評価と教員の自己評価の比較

表3-1は「学生による授業評価」の質問項目と「教員のFD活動レポート」の質問項目A（8ページ参照）の対応を示したものである。

表3-2には、FD活動レポートの質問項目8、1～7に対する4段階評価（4:あてはまる、3:ややあてはまる、2:あまりあてはまらない、1:あてはまらない）の平均値を示すとともに、比較のために、学生による授業評価の平均値（対応する項目）を併記した。また、科目区分ごとの平均受講者数と科目合計を追記するとともに、学生による授業評価の値がFD活動レポートの値と比べて高い項目については網掛けで示した。

表 3-1 「学生による授業評価」と「教員のFD活動レポート」の質問項目の対応

学生による授業評価		教員のFD活動レポート	
1	私は75%以上授業に出席した		
2	私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ		
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した	8	シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された
4	授業はシラバスに沿って行われた	1	シラバスに沿って授業を行えた
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった	2	学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった	3	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった
7	重要なポイントが明らかで、説明も分かり易かった	4	重要ポイントを明示し、分かり易く説明した
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった	5	学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した	6	授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった		
11	学習環境は適切だった		
12	満足できる授業だった	7	総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた

表 3-2 「教員の FD 活動レポート」における各質問項目の平均値(科目群別)

科目区分		回答率 ¹⁾	登録者数 ²⁾	質問項目と平均値 ³⁾							
				8	1	2	3	4	5	6	7
大学教育基礎科目	英語	20/29	42(30-49)	3.2 (3.2)	3.9 (3.6)	3.9 (3.5)	3.6 (3.5)	3.7 (3.4)	3.7 (3.4)	3.6 (3.4)	3.7 (3.6)
	コミュニケーション英語	18/28	40(30-44)	3.7 (3.2)	3.8 (3.7)	3.8 (3.6)	3.8 (3.6)	3.9 (3.6)	3.7 (3.5)	3.7 (3.5)	3.7 (3.7)
	初修外国語 ⁴⁾	20/36	61(2-94)	3.6 (3.1)	3.9 (3.5)	4.0 (3.4)	3.5 (3.4)	4.0 (3.3)	3.7 (3.2)	3.7 (3.4)	3.7 (3.4)
	保健体育科目	16/25	40(16-52)	3.6 (3.5)	3.4 (3.7)	3.3 (3.7)	2.9 (3.7)	3.3 (3.6)	3.1 (3.6)	2.1 (3.3)	3.6 (3.7)
主要教育科目	現代の社会と倫理	8/9	148(126-170)	3.3 (3.3)	3.5 (3.6)	3.5 (3.3)	3.3 (3.4)	3.3 (3.2)	3.0 (3.2)	2.6 (3.0)	3.4 (3.3)
	人間と文化	3/11	90(39-155)	3.3 (3.2)	3.7 (3.6)	3.7 (3.4)	3.3 (3.3)	3.3 (3.2)	3.3 (3.2)	2.3 (3.0)	3.3 (3.3)
	現代社会の課題	3/9	115(65-160)	3.3 (3.2)	4.0 (3.6)	3.7 (3.4)	3.3 (3.4)	3.7 (3.3)	3.3 (3.3)	2.7 (3.0)	3.3 (3.4)
	自然と生命	8/11	105(44-159)	3.0 (3.2)	3.3 (3.6)	3.8 (3.4)	3.0 (3.4)	3.4 (3.3)	3.0 (3.3)	2.3 (3.0)	3.0 (3.4)
選択教育科目	文化・社会系	4/10	52(11-148)	3.0 (3.2)	3.0 (3.7)	3.5 (3.5)	3.0 (3.4)	3.3 (3.5)	3.3 (3.5)	3.3 (3.3)	3.3 (3.6)
	科学・技術系	4/6	34(7-43)	3.3 (3.2)	3.8 (3.8)	3.3 (3.5)	3.0 (3.6)	3.3 (3.4)	3.0 (3.3)	3.0 (3.2)	3.8 (3.5)
	生命科学系	2/3	64(22-146)	3.0 (3.3)	3.5 (3.7)	3.5 (3.5)	3.5 (3.6)	3.5 (3.7)	3.5 (3.7)	1.5 (3.0)	3.0 (3.7)
	複合・学際系	2/6	46(9-88)	4.0 (3.2)	4.0 (3.7)	4.0 (3.6)	4.0 (3.6)	4.0 (3.5)	4.0 (3.5)	3.0 (3.3)	3.5 (3.6)
	生涯学習系	1/5	122(39-192)	4.0 (3.2)	4.0 (3.7)	4.0 (3.6)	4.0 (3.6)	4.0 (3.5)	4.0 (3.5)	3.0 (3.3)	4.0 (3.6)
	外国語系	4/7	14(5-27)	3.8 (3.3)	3.8 (3.8)	4.0 (3.6)	3.5 (3.7)	4.0 (3.6)	3.8 (3.7)	4.0 (3.6)	3.5 (3.8)
全体平均		115/197	61	3.4 (3.3)	3.7 (3.6)	3.7 (3.5)	3.4 (3.5)	3.6 (3.4)	3.5 (3.4)	2.9 (3.3)	3.5 (3.5)

注:1) 回答科目数/開講科目数。

2) 登録者数は、平均登録者数(最小クラスー最大クラス)を示し、未回答の科目も含む。

なお、「全体平均」の平均登録者数は日本語科目を除いた値。

3) ()内の数値(下段の数値)は、「学生による授業評価」による平均値。

また、網掛けセルは、学生による授業評価の値がFD活動レポートの値と比べて高い項目。

4) 初修外国語は、通年科目(通年での評価)である。

【学生と教員の評価の比較(特徴)】

表3-2の結果に基づいて、FD活動レポートと授業評価について比較する。例年どおり、全般の項目において教員側の自己評価が高い傾向がみられる。ただし、その数は全体で 97 項目(平成 20 年度前期)から 74 項目にやや減少している。その他の項目別特徴については従来の傾向をほぼ踏襲しているが、科目区分によっては昨年度とやや変化が見られた。

- (1) 科目区分全体では、「教員の教え方」に直接関係するもののうち質問2(理解度やレベルを踏まえたか)と質問4(ポイントを明示し、分かり易く説明)で教員の自己評価の方が0.2ポイント高く、質問8(目標への達成度)や質問1(シラバスに沿っているか)そして質問5(学習意欲や好奇心を掻き立てる教え方か)では、教員の自己評価の方がやはり0.1ポイント高い。
- (2) このような教員の自己評価の方が高い傾向を(あくまでも科目群の平均でみた傾向であるが)質問項目及び科目区分別にみると、質問8(目標)のうち、大学教育基礎科目では「コミュニケーション英語」と「初修外国語」ではそれぞれ0.5ポイント高い。また選択教育科目群では「複合・学際系」と「生涯学習系」では各0.8ポイント、「外国語系」で0.5ポイント高かった。質問1(シラバス)では、大学基礎教育科目のうち「英語」が0.3ポイント、「初修外国語」で0.4ポイント高く、主要科目教育群では「現代の社会と倫理」が0.4ポイント高かった。質問2(内容レベル)では、大学教育基礎科目群「英語」と「初修外国語」が0.4ポイント、主要教育科目群の「自然と生命」が0.4ポイント、選択教育科目群では「複合・学際系」「生涯学習系」「外国語系」でそれぞれ0.4ポイント高かった。質問3(教育方法・技術)では、選択教育科目群の「複合・学際系」「生涯学習系」で0.4ポイント高かった。質問4(わかりやすさ)では、大学基礎教育科目群の「初修外国語」で0.7ポイントも高く、主要教育科目群の「現代社会と課題」で0.4ポイント、選択教育科目群では「複合・学際系」「生涯学習系」で0.5ポイント、「外国語系」で0.4ポイント高い。質問5(学習者の意欲・満足)では選択教育科目群の「複合・学際系」「生涯学習系」(各0.5ポイント)、また質問6(予習・復習)では選択教育科目群の「外国語系」(0.4ポイント)、さらに質問7(総合満足度)では選択教育科目群の「生涯学習系」(0.4ポイント)において教員の高自己評価傾向が著しかった。
- (3) こうした教員と学生間における授業評価のずれの要因を説明することは(科目別に事情はあるにしても)難しい。たとえば質問8では、おそらく目標設定と受講者の達成度測定法に課題があることが伺われるが、その課題を教員自身がどれほど認識しているか、大いに疑問であろう。「大学生なのだから当然これくらいのことはできるはずだ」という思い込み自体を反省する必要があるのではないか。またとりわけ英語・外国語系科目や「複合・学際系」「生涯学習系」科目では、質問項目全体で教員の自己評価がかなり高い傾向がある。この評価のずれの大きさをFD活動の一環として各共通教育科目部会などで分析する必要があるのではないだろうか。
- (4) 他方、教員の自己評価より学生の授業評価が高い傾向を示す質問項目・科目群も存在する(20年度前期39項目→20年度後期46項目にやや増加)。全体平均では、質問3(教育方法・技術)が0.1ポイント、質問6(予習・復習等を課したか)は0.4ポイント高いに過ぎないが、

各科目群別にみると著しく高いものがある(ここでは0.4ポイント以上の項目のみ取り上げる)。とりわけ質問3では大学教育基礎科目群の「保健体育科目」(0.8ポイント)、主要教育科目群の「自然と生命」(0.6ポイント)、選択教育科目群の「科学技術系」(0.6ポイント)が高く、質問1(シラバス)では選択教育科目群の「文化・社会系」(0.7ポイント)、「生命科学系」(0.4ポイント)、質問2(内容レベル)では大学基礎教育科目群の「保健体育科目」(0.4ポイント)、質問5(学習者の意欲・満足)では大学教育基礎科目群では「保健体育科目」(0.5ポイント)、質問6では大学基礎教育科目群の「保健体育科目」(1.2ポイント!)主要基礎科目群の「現代の社会と倫理」(0.4ポイント)、「自然と生命」(0.7ポイント)、選択科目群の「生命科学系」(1.5ポイント!)、「生涯学習系」(0.7ポイント)、「外国語系」(0.4ポイント)などにおいて学生の授業評価の方が高い。

- (5) 質問7(総合評価)では、「自然と生命」(0.4ポイント)、「生命科学系」(0.7ポイント)、「生涯学習系」(0.4ポイント)において、教員の自己評価より学生の授業評価のほうが高い傾向を示した。
- (6) 上記(4)(5)の解釈は一概にはできないが、(課題の出し方を含む)教育の方法・技術や科目領域の性格(親しみやすさや必要性など)に関して、学生評価の高さを教員自身が自覚していない科目群が多数存在するという点である。これは授業評価において教員と学生の間には評価ポイントにずれがあるという点を含めて、(3)とはまた違った意味で自らの講義スタイルを振り返る必要があるのではないか。また共通教育分野別部会ごとのFD活動においてもこれらの傾向を意識した取り組みが必要だと思われる。

以上、科目の性質の違いや教員による評価基準等に違いがあるため安易な解釈は差し控えるべきであろうが、教員と学生の意識の差(ズレ)が、毎年、類似した形で見受けられることは強調しておきたい。そのうえで、反省すべきは反省し、逆に見習う点は(講義見学を含めて)FD活動の今後の課題としたい。

なお、表3-2に受講者数(平均, 最大, および最小値)も併記した。これと回答結果との相関についての議論は控えるが、参考までにみられたい。

- 全体として、科目の目標・レベル・わかりやすさなどにおいて教員側の自己評価が学生の授業評価より高い傾向にある。
- 他方、教育の方法・技術に関しては、教員の自己評価より学生の授業評価が高い傾向を示す科目群が存在する。
- 自らの授業を反省し、評価のずれの要因分析と来年度への改善が必要。
- ただし、科目・科目群による受講者数や性格等の違いにより、FD活動レポート評価のパターンは明確に異なることには留意すべきである。

【2】教員のFD活動の状況

「1年間で取り組んだFD活動」について集計したものが下表である(FD活動レポートの質問Bの回答結果)。なお、複数科目を担当する教員が同じコメントを記載している場合には重複回答とみなし、まとめて1回答分として集計した。

表 教員のFD活動の状況と意向(複数回答)

	1年間で取り組んだFD活動	
	度数	%
他教員の授業参観	25	25.3
学内外のFD講演会等への参加	34	34.3
他大学のFD活動の視察	9	8.5
その他	20	20.2
無回答	19	19.2
全体(FD活動レポート回収数)	99	

データ: 20年度後学期の教員のFD活動レポートより。

「1年間で取り組んだFD活動」としては、「学内外のFD講演会等への参加」が34%と最も高く、次いで「他教員の授業参観」が25%となっている。

また、「その他」のFD活動(24%)としては、以下の内容が挙げられている。

- ・ FD関連資料、文献等を読む(指導書、授業改善資料を含む)
- ・ 自分自身の授業の公開
- ・ 教科書の作成・編集、関連資料の査読
- ・ 他教員との情報交換(テキスト、授業内容、学生相互評価票等)
- ・ 小中高教員の英語授業参加、研修会参加
- ・ 教授法の発展のための独自FD(毎回学生から意見聴取、授業改善報告書作成等)

以上の結果を考えると、教員は、普段のかつ「身近」な場所でのFDを行っている傾向がみられる。こうした取り組みは引き続き充実させていく必要があると考えるが、同時に、教員自らが積極的に情報交換や教科書の作成・編集、独自のFD(授業改善報告書作成)等を行おうとする事実も確認され、注目される。

他方、開講科目のうち回収率49.5%、そのうちFD活動に関する無回答が5分の1近い19%を占めており、こうした教員の多くは、FDを特に行ってはいないと思われる。たしかにFD活動自体は教員の自主性に委ねる部分が多く、また日常業務が「多忙」であることが、未回収、無回答の理由なのかもしれない。しかし受講生の多様化(というより学力低下)に対応することが学内外から期待されているとすれば、(入学偏差値の差を考慮しても)われわれ教員自身が真摯に自己の教育活動を反省し、授業改善に取り組むしか他に道はない。「学生消費者時代」はいまや国立大学にまで押し寄せてきているのである。改めてFD活動への関心と参加を期待したい。

第4章 科目ごとのデータ一覧

以下に、平成20年度後学期のすべての共通教育科目(全197科目)のうち、「学生による授業評価」が提出された180科目のデータを掲載する(ただし、「初修外国語」は通年の評価であり、この通年評価の扱いに準じて、医学部の集中講義に関しては掲載していない。また、科目名、担当教員名等は掲載していない)。

なお、科目の掲載に際しては、質問12(総合満足度)の評価の高い順に並べ替えてある。

あらためて述べると、評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

また、質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

【1】英語(29 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.7	3.5	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7	3.4	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7
2	3.9	3.7	3.5	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
3	3.9	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7
4	3.9	3.7	3.4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	3.9	3.8	3.8	3.6	3.7
5	4.0	3.7	3.5	3.8	3.6	3.7	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6
6	3.9	3.4	3.1	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	3.4	3.5
7	3.8	3.4	3.1	3.4	3.6	3.7	3.3	3.8	3.1	3.8	3.9	3.7	3.4	3.4
8	3.9	3.6	3.3	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7
9	3.9	3.7	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6
10	3.9	3.8	3.0	3.8	3.4	3.6	3.4	3.6	3.5	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5
11	3.9	3.7	3.2	3.7	3.5	3.5	3.3	3.5	3.6	3.5	3.7	3.6	3.6	3.5
12	4.0	3.7	3.1	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6
13	3.8	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4
14	3.8	3.7	3.4	3.8	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5
15	3.8	3.3	3.1	3.6	3.7	3.7	3.8	3.5	3.5	3.8	3.7	3.6	3.4	3.6
16	3.7	3.7	3.2	3.5	3.5	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5
17	3.9	3.7	3.3	3.8	3.4	3.6	3.2	3.3	3.5	3.8	3.8	3.6	3.6	3.4
18	3.7	3.3	3.2	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.1	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4
19	3.9	3.4	3.3	3.7	3.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.7	3.7	3.5	3.5	3.4
20	3.8	3.4	3.2	3.5	3.6	3.5	3.6	3.4	3.4	3.7	3.5	3.5	3.4	3.5
21	3.8	3.3	3.1	3.6	3.4	3.3	3.2	3.0	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4	3.3
22	4.0	3.5	3.4	3.6	3.3	3.4	3.3	3.2	3.5	3.7	3.6	3.4	3.6	3.3
23	3.9	3.5	2.8	3.4	2.8	3.3	3.0	3.1	3.4	3.8	3.7	3.3	3.4	3.1
24	3.8	3.5	3.0	3.6	3.5	3.4	3.2	3.2	3.2	3.6	3.6	3.3	3.4	3.3
25	3.9	3.4	3.2	3.6	3.4	3.1	3.0	3.0	3.5	3.6	3.7	3.3	3.5	3.2
26	3.8	3.6	3.2	3.3	3.3	3.4	3.2	3.5	3.3	3.6	3.6	3.3	3.5	3.3
27	3.8	3.2	2.9	3.2	3.3	3.2	3.1	2.9	3.2	3.6	3.5	3.2	3.3	3.1
28	3.9	3.1	2.9	3.6	3.4	2.8	2.9	2.7	3.3	3.5	3.5	3.1	3.3	3.1

※1 科目が未提出。

【2】コミュニケーション英語(28 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.6	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8
2	4.0	3.6	3.2	3.6	3.8	3.9	3.7	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9	3.6	3.7
3	3.9	3.8	3.3	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.5	3.9	3.8	3.9	3.6	3.6
4	4.0	3.5	3.3	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.8
5	3.9	3.8	3.2	3.8	3.6	3.8	3.8	3.5	3.5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6
6	3.9	3.6	3.3	3.6	3.7	3.6	3.4	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6
7	4.0	3.7	3.2	3.8	3.8	3.6	3.7	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.6	3.6
8	4.0	3.7	3.2	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.7
9	3.9	3.8	3.3	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.7
10	4.0	3.7	3.2	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.5	3.9	3.9	3.8	3.6	3.6
11	3.8	3.6	3.2	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.7	3.5	3.6
12	3.9	3.5	3.4	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5
13	3.8	3.3	3.2	3.7	3.6	3.7	3.7	3.4	3.1	3.7	3.7	3.7	3.4	3.5
14	3.8	3.6	3.3	3.5	3.7	3.6	3.5	3.7	3.4	3.5	3.6	3.7	3.5	3.5
15	3.9	3.5	3.2	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7	3.7	3.5	3.6
16	4.0	3.8	3.6	3.9	3.8	3.5	3.3	3.4	3.7	3.9	3.9	3.7	3.8	3.6
17	4.0	3.4	2.9	3.8	3.7	3.7	3.4	3.5	3.1	3.9	3.9	3.6	3.4	3.5
18	4.0	3.5	3.1	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.2	3.9	3.9	3.6	3.5	3.5
19	3.8	3.3	3.1	3.6	3.7	3.7	3.8	3.5	3.6	3.8	3.8	3.6	3.4	3.6
20	3.9	3.6	3.1	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5
21	3.8	3.2	2.9	3.7	3.7	3.4	3.5	3.1	3.6	3.8	3.9	3.5	3.3	3.5
22	3.8	3.4	3.0	3.5	3.3	3.5	3.5	3.3	3.5	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4
23	3.9	3.5	3.1	3.3	3.3	3.2	3.1	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.2
24	3.9	3.5	3.3	3.6	3.3	3.4	3.2	3.2	3.6	3.8	3.8	3.4	3.5	3.3
25	3.9	3.7	3.3	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	3.4	3.6	3.7	3.4	3.6	3.4
26	4.0	3.7	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	3.8	3.6	3.4	3.6	3.4
27	3.9	3.2	3.1	3.6	3.4	3.1	3.1	2.9	3.3	3.8	3.7	3.2	3.4	3.2

※1 科目が未提出。

【3】初修外国語(36 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.5	3.1	3.8	3.6	3.7	3.7	3.4	3.4	3.7	3.8	3.8	3.5	3.6
2	3.9	3.7	3.4	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.6	3.8
3	3.9	3.7	3.4	3.9	3.8	3.9	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7
4	3.8	3.6	3.1	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.8	3.8	3.7	3.5	3.5
5	3.9	3.6	3.4	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6
6	3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6
7	3.9	3.4	3.3	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5
8	3.9	3.5	3.1	3.7	3.6	3.5	3.6	3.2	3.3	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4
9	3.9	3.6	3.2	3.6	3.7	3.7	3.6	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6
10	3.9	3.3	3.0	3.7	3.4	3.6	3.3	3.3	3.4	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4
11	3.8	3.4	3.1	3.7	3.3	3.6	3.5	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5	3.4	3.4
12	3.9	3.6	3.2	3.6	3.6	3.3	3.3	3.2	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4
13	3.9	3.7	3.4	3.8	3.6	3.5	3.4	3.4	3.6	3.8	3.8	3.5	3.6	3.5
14	3.8	3.6	3.1	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5
15	3.8	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	3.3	3.3	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.4
16	3.9	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5	3.3
17	3.6	3.3	3.1	3.5	3.3	3.2	3.3	3.4	3.3	3.7	3.7	3.4	3.3	3.3
18	3.7	3.3	2.9	3.6	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.6	3.6	3.4	3.3	3.3
19	3.9	3.8	3.4	3.6	3.4	3.2	3.1	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4	3.7	3.3
20	3.9	3.3	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.2	3.4	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
21	3.9	3.5	3.0	3.5	3.0	3.1	3.0	3.1	3.3	3.7	3.8	3.3	3.4	3.1
22	3.8	3.3	3.0	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2
23	3.9	3.3	3.0	3.3	3.1	3.2	3.0	3.2	3.3	3.4	3.6	3.3	3.4	3.1
24	3.9	3.2	3.0	3.5	3.3	3.3	3.1	3.1	3.0	3.6	3.6	3.3	3.3	3.2
25	3.8	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.4	2.4	3.2	3.3	3.4	3.2
26	3.9	3.4	3.1	3.4	3.0	3.2	3.1	3.2	3.3	3.5	3.5	3.2	3.4	3.2
27	3.9	3.3	3.2	3.2	2.9	3.1	2.9	2.9	3.2	3.5	3.5	3.1	3.4	3.0
28	3.7	3.2	3.0	3.5	3.4	3.2	3.2	2.9	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.2
29	3.8	3.3	2.5	3.5	3.0	3.3	3.4	3.0	3.5	3.8	3.8	3.1	3.2	3.2
30	3.7	2.8	2.6	2.6	2.4	2.5	2.3	2.5	2.8	3.5	3.6	2.6	3.0	2.5
31	3.6	2.8	2.5	2.5	2.4	2.2	2.3	2.3	2.5	3.2	3.3	2.5	2.9	2.3

※5 科目が未提出。

【4】保健体育科目(25 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8
2	4.0	3.9	3.6	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.4	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7
3	4.0	3.9	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.3	3.9	3.8	3.7
4	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.4	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7
5	3.9	3.9	3.6	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8
6	3.9	3.7	3.3	3.8	3.7	3.7	3.5	3.5	3.1	3.7	3.7	3.9	3.6	3.5
7	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.3	3.6	3.7	3.8	3.8	3.7
8	4.0	3.8	3.3	3.7	3.9	3.8	3.9	3.7	3.1	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6
9	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.8	3.9	3.6
10	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.6	3.4	3.7	3.8	3.7	3.8
11	3.9	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.2	3.2	3.5	3.8	3.7	3.6
12	3.9	3.7	3.4	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.1	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6
13	3.9	3.9	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
14	3.9	3.8	3.4	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.4	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7
15	4.0	3.9	3.6	3.7	3.9	3.7	3.7	3.7	3.4	3.9	3.7	3.7	3.8	3.6
16	3.9	3.8	3.4	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.2	3.5	3.5	3.7	3.7	3.5
17	4.0	3.7	3.2	3.4	3.6	3.5	3.6	3.7	2.9	3.9	3.8	3.7	3.6	3.4
18	3.8	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.3	3.4	3.7	3.7	3.6
19	3.9	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7
20	3.9	3.9	3.5	3.7	3.6	3.7	3.3	3.5	3.1	3.7	3.6	3.7	3.7	3.4
21	3.9	3.8	3.5	3.5	3.4	3.4	3.2	3.3	2.9	3.5	3.6	3.6	3.7	3.2
22	3.9	3.8	3.5	3.5	3.3	3.4	3.3	3.1	2.9	3.3	3.5	3.5	3.7	3.2
23	3.8	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.5	3.2	3.5	3.6	3.5	3.5	3.3
24	3.9	3.8	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.5	3.7	3.3
25	3.9	3.6	3.0	3.8	3.5	3.6	3.5	3.4	2.6	3.7	3.2	3.3	3.5	3.4

※ 未提出の科目はない。

【5】現代の社会と倫理(9 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.6	3.4	3.7	3.8	3.9	3.8	3.9	3.4	3.7	3.8	3.9	3.6	3.7
2	3.9	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7
3	3.9	3.5	3.4	3.7	3.5	3.6	3.4	3.4	3.1	3.4	3.5	3.5	3.6	3.4
4	3.9	3.5	3.3	3.5	3.3	3.4	3.1	3.1	2.9	3.4	3.6	3.3	3.5	3.2
5	3.9	3.4	3.3	3.6	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.4	3.6	3.3	3.5	3.2
6	3.8	3.3	3.2	3.6	3.2	3.3	3.2	3.1	2.7	3.2	3.3	3.2	3.4	3.1
7	3.9	3.3	3.1	3.4	3.1	3.1	2.9	2.9	2.8	3.4	3.5	3.1	3.4	3.0
8	3.8	3.4	3.2	3.5	3.1	3.2	3.0	3.0	2.8	3.4	3.4	3.1	3.4	3.1
9	3.9	3.3	2.9	3.3	2.7	2.7	2.5	2.5	2.6	3.4	3.5	2.7	3.3	2.7

※ 未提出の科目はない。

【6】人間と文化(11 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.5	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5	3.5	3.2	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4
2	3.8	3.3	3.2	3.8	3.6	3.7	3.6	3.6	3.2	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5
3	3.9	3.4	3.4	3.7	3.6	3.6	3.4	3.5	3.0	3.3	3.7	3.6	3.5	3.4
4	3.7	3.2	3.2	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.2	3.0	3.5	3.5	3.3	3.4
5	3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.5	3.5	3.3	3.2	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4
6	3.9	3.5	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.2	3.5	3.4	3.2	3.6	3.2
7	3.9	3.4	3.2	3.4	3.2	3.2	3.0	2.9	2.8	3.6	3.6	3.1	3.5	3.0
8	3.9	3.4	3.1	3.3	3.2	3.0	2.9	3.0	2.9	3.6	3.6	3.1	3.4	3.0
9	3.8	3.2	2.8	3.4	2.6	2.6	2.4	2.5	2.7	3.5	3.5	2.9	3.2	2.7

※2 科目が未提出。

【7】現代社会の課題(9 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.3	3.0	3.5	3.4	3.1	3.1	3.0	2.9	3.5	3.5	3.2	3.3	3.1
2	3.7	3.2	3.0	3.4	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	3.4	3.5	3.0	3.3	3.0
3	3.8	3.4	3.1	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.8	3.3	3.3	3.1	3.4	3.1
4	3.8	3.2	3.1	3.3	3.0	3.1	2.9	2.9	2.5	3.2	3.3	3.0	3.3	2.9
5	3.8	3.6	3.3	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.1	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5
6	3.9	3.7	3.5	3.6	3.7	3.6	3.5	3.4	3.1	3.5	3.7	3.7	3.7	3.4
7	3.9	3.5	3.2	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.2	3.7	3.8	3.8	3.5	3.6
8	3.9	3.7	3.4	3.7	3.5	3.6	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6

※1 科目が未提出。

【8】自然と生命(11 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.8	3.3	3.6	3.6	3.7	3.8	3.4	3.3	3.8	3.8	3.7	3.6	3.5
2	3.9	3.6	3.2	3.8	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.5	3.5	3.5
3	3.8	3.3	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.3	3.0	3.4	3.5	3.4	3.4	3.2
4	3.8	3.5	3.3	3.6	3.4	3.2	3.1	3.1	3.0	3.4	3.4	3.3	3.5	3.2
5	3.8	3.5	3.3	3.5	3.2	3.4	3.4	3.3	3.0	3.5	3.5	3.3	3.5	3.3
6	3.9	3.5	3.2	3.6	3.0	3.0	2.9	3.2	3.2	3.6	3.6	3.2	3.5	3.1
7	3.8	3.4	3.1	3.6	3.1	3.4	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.1	3.4	3.2
8	3.7	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	2.8	3.2	3.4	3.0	3.3	3.0
9	3.9	3.2	2.9	3.3	2.8	2.9	2.7	2.7	2.7	3.2	3.2	2.9	3.3	2.8
10	3.9	3.0	2.4	3.1	1.7	2.4	2.0	2.1	2.7	3.3	3.3	2.2	3.1	2.3

※1 科目が未提出。

【9】文化・社会系(10 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	4.0	3.1	4.0	3.6	4.0	3.8	3.6	4.0	3.6	3.6	3.8	3.7	3.8
2	4.0	3.2	3.0	3.0	3.2	3.0	3.5	3.5	3.2	2.6	3.2	3.7	3.4	3.2
3	3.6	3.7	3.2	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.5	3.7
4	3.8	3.5	3.2	3.8	3.5	3.5	3.4	3.4	3.6	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5
5	3.8	3.3	3.1	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.3	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5
6	3.8	3.3	3.3	3.6	3.4	3.4	3.3	3.2	2.9	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3
7	4.0	3.4	3.1	3.6	3.4	2.8	3.1	3.5	3.0	3.4	3.6	3.4	3.5	3.2
8	3.8	3.4	3.3	3.7	3.5	3.2	3.3	3.3	3.0	3.6	3.2	3.3	3.5	3.3

※2 科目が未提出。

【10】科学・技術系(6 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.7	4.0	3.5	4.0	3.7	4.0	3.7	3.7	4.0	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8
2	3.9	3.3	3.1	3.8	3.7	3.6	3.3	3.4	2.9	3.7	3.7	3.7	3.4	3.4
3	3.8	3.2	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	2.9	3.6	3.4	3.5	3.4	3.3
4	3.9	3.2	2.7	3.7	2.9	3.1	3.1	2.7	3.1	3.7	3.7	3.1	3.2	3.1

※2 科目が未提出。

【11】生命科学系(3 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.9	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.6	3.6	2.9	3.6	3.5	3.7	3.6	3.4
2	3.7	3.2	3.2	3.7	3.4	3.7	3.7	3.7	3.0	3.7	3.7	3.7	3.3	3.5

※1科目が未提出。

【12】複合・学際系(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	3.7	3.3	3.6	3.8	3.7	3.6	3.7	3.5	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6
2	3.8	3.6	3.4	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	3.2	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5
3	3.8	3.4	2.9	3.8	3.4	3.6	3.4	3.2	3.1	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4

※3科目が未提出。

【13】生涯学習系(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.5	3.7	3.8	3.9	3.7	3.7
2	4.0	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.9	3.9	3.7
3	3.9	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.4	3.6	3.5	3.8	3.7	3.6
4	3.9	3.6	3.6	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.0	3.6	3.6	3.7	3.7	3.5
5	3.9	3.4	3.3	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.0	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4

※未提出の科目はない。

【14】外国語系(7科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	3.6	4.0	3.3	3.6	4.0	3.6	3.6	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	3.6	3.7
2	4.0	4.0	3.5	4.0	3.0	4.0	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	4.0	3.8	3.6
3	4.0	3.8	3.2	3.8	3.9	3.9	3.7	3.8	3.6	4.0	4.0	4.0	3.6	3.7
4	4.0	4.0	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	3.8	3.9
5	4.0	3.4	3.2	3.7	3.5	3.7	3.7	3.5	3.6	3.8	3.8	3.7	3.5	3.6
6	4.0	3.2	3.0	3.4	3.2	3.1	3.1	3.1	3.3	3.6	3.5	3.1	3.4	3.2

※1科目が未提出。

【15】日本語・日本事情(5 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	平均 1-3	平均 4-9
1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
2	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0
3	4.0	3.8	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.6	4.0	4.0	4.0	3.8	3.9
4	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	3.6	3.7	3.9
5	4.0	3.4	3.2	4.0	4.0	3.7	3.7	3.7	3.2	4.0	3.5	3.6	3.5	3.7

※ 未提出の科目はない。

第5章 総 括

共通教育においては、「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」を平成 16 年度以降、継続して実施してきた。そして、結果については毎回、報告書として取りまとめ、活用されてきたところである。

その結果、第2章において述べたように、この4年間においては、学生による授業評価は向上してきており、共通教育におけるFD活動は成果を挙げつつあること、但し科目による評価の差は依然として存在することが明らかになった。

以上の事柄を確認できるのは、学生や教職員の協力のもとに継続して調査を実施してきたことによるものであるが、ここであらためて4年間における「学生による授業評価」の回収率、及び「教員のFD活動レポート」の提出率を整理すると下表の通りである。

「学生による授業評価」は、平成 18 年度前学期～19 年度前学期まで 96～97%という高い回収率であったが、19 年度後学期に 90%に低下し、20 年度前学期は 97%となったが再び今回(平成 20 年度後学期)は 90%へと低下した。一方、「教員のFD活動レポート」の提出率は 80%以上に向上していたものの、平成 19 年度以降低下し続け、今回も前回(平成 20 年度前学期)以上に低い 51%にとどまっている。

平成 19 年度後学期の報告書においても述べたことであるが、本調査をはじめとするFD活動は制度としては定着しているものの、授業評価やFDに対して、ある意味、飽和あるいは停滞といえる意識も、教員のなかに多少あるのではないだろうか。

自身のことを常に客観的にみつめ、継続して取り組んでいくことの重要性を再認識するとともに、単に自身のことにとどまらず、他教員や本学の教育全体の向上を図っていくためにも、すべての教員が上記調査に取り組んで頂きたいと願う次第である。

表 平成 16 年度前期から平成 20 年度後期までの回収率・提出率の推移

年度・学期	学生による授業評価	教員の FD 活動レポート
平成 16 年度前学期	87%	75%
平成 16 年度後学期	80%	58%
平成 17 年度前学期	82%	68%
平成 17 年度後学期	89%	85%
平成 18 年度前学期	96%	85%
平成 18 年度後学期	96%	83%
平成 19 年度前学期	97%	73%
平成 19 年度後学期	90%	70%
平成 20 年度前学期	97%	58%
平成 20 年度後学期	90%	51%

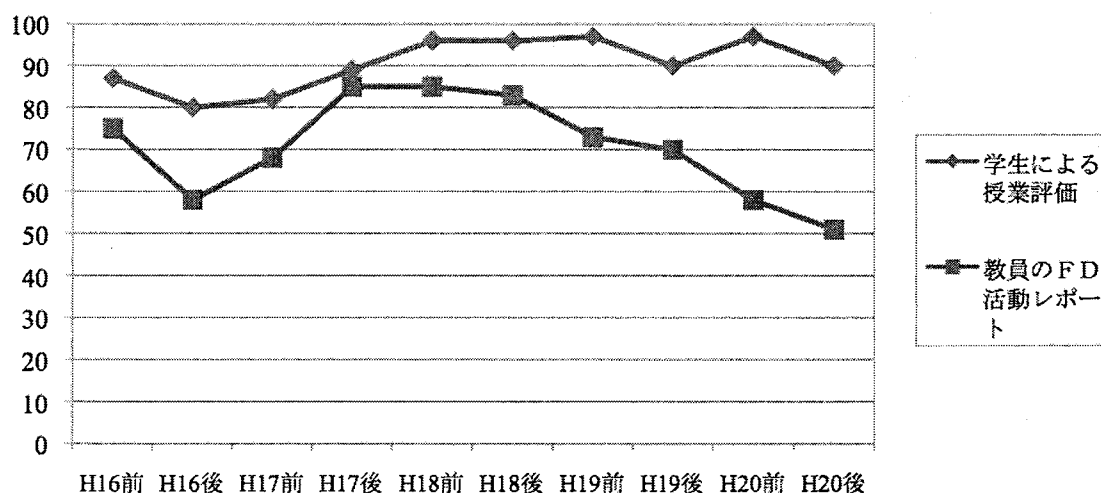


図 平成 16 年度前期から平成 20 年度後期までの回収率・提出率の推移 (%)

これまでの調査結果からみる共通教育における課題を、以下に整理する。

第1に、学生の授業評価における最近の動向や「教員の教え方」等について、どのように評価するかである。授業の内容や教員の話し方、説明の仕方に関連する項目や「総合満足度」は、全体平均でみれば今年度は前年度よりも高い 3.4～3.5 の評点を達成している。このことは、教育の改善(特に教え方)に関して、教員の努力が実ってきている現れとみることができよう。いわゆる「良い講義」や「わかりやすい講義」というのは教員や学生により受け止め方が異なるし、科目の性格、教える内容・レベルにより評価点は当然変わってくる。教員各位が、自分なりのさらなる向上に対して、常に関心を持って頂きたい。

第2に、学生の授業評価における科目群、科目単位でみた違いである。これに関しても科目の性格、内容・レベルによる違いがあるため一概に評価できないが、年度や学生は違っても評価点やばらつき等、毎回類似した傾向にある。

第3に、教員と学生の意識の差である。差は縮まってきているものの一般に学生の評価より教員の自己評価が高いことや、項目や科目群ごとで同じ様な評価値の差を示していること等、やはり毎回類似した傾向にある。

第4に、こうした授業評価結果を具体的にどのように活かしていくか、そして具体的には第5として、教員自身、どのようなFD活動を行っていくかである。

以上を踏まえ、授業、並びに FD 活動を行う上での課題を整理する。

第1に、学生の基礎学力の差への対応である。授業内容・レベル・スピードの設定の難しさ(特に、外国語系や自然科学系の科目において)、時間数の制約のなかで、各教員ともに工夫しながら授業を行っているところであろう。以前から指摘されている問題ではあるが、教員自身としては、何を教えるのか、また何を最低限身に付けて欲しいのかをあらためて認識するとともに、クラス編成について柔軟な対応が可能か、検討する必要がある。

第2に、学生と教員の「コミュニケーション」をいかに行うかである。これも、既に行われていることではあるが、具体的には理解度のチェックや学生の意向の把握ということになる。ただし要は、学生が受け身の受講態度ではなく、出来るだけ学生自身の主体性を引き出すための工夫が引き続き求められる。

第3に、授業を行う環境や体制の問題である。受講者数、担当する学部間・教員間の「偏り」等も依然として指摘されるところであり、これらについては、教員各位、並びに全学の責任として、早急に対応していくべき課題と考える。

最後に、今回、並びにこれまでの調査結果や、以上の事柄(いずれも教員各位が認識していることであろうが)を、自身のこととしてあらためての受け止め、教員が各々の立場で考えて頂ければ幸いである。

共通教育部自己点検・評価委員会委員

(平成 20 年度)

秋 山 博 臣 (教育文化学部)
菊 井 高 雄 (医学部)
槐 島 芳 徳 (農学部)
ゲ ス ト マ イ ケ ル (医学部)
高 橋 る み 子 (教育文化学部)
武 方 壮 一 (教育研究・地域連携センター)
西 森 利 数 (医学部；共通教育部長)
西 脇 亜 也 (農学部)
○南 太 一 郎 (教育文化学部)
山 田 利 博 (教育文化学部)
◎山 本 直 之 (農学部)
山 森 一 人 (工学部)
(◎は委員長 ○は副委員長)

(平成 21 年度)

秋 山 博 臣 (教育文化学部)
菊 井 高 雄 (医学部) ★
木 下 統 (農学部) ★
槐 島 芳 徳 (農学部)
ゲ ス ト マ イ ケ ル (医学部)
高 橋 る み 子 (教育文化学部)
武 方 壮 一 (教育研究・地域連携センター)
西 森 利 数 (医学部；共通教育部長)
西 脇 亜 也 (農学部)
◎長 谷 川 信 美 (農学部) ★
兵 頭 慶 子 (医学部)
○南 太 一 郎 (教育文化学部)
山 田 利 博 (教育文化学部) ★
山 森 一 人 (工学部)
(◎は委員長 ○は副委員長)

(★は 20 年度前・後学期報告書作成WG)

*尚、両年度共、授業評価に係る作業データの処理等には、
武方委員に多大な尽力を賜った。特記して謝意を表する。

